



思省人法洞  
自三  
五





甲谷上人繪詞第三目錄

卷十一

九條関白殿下御息白御佛事々

月輪殿上人御息所造作事

選擇集制作事

上人籠居時九條殿召請事

月輪殿御出家事

大炊御門左大臣往生事

花山院左大臣往生事

民部卿範光往生事 大宮内侍往生事

野宮左大臣往生事

聖護院無品親王御往生事

卷十三



卷十四

卷十五

靜嚴法印發心ハシ事シ

清水寺瀧山寺サキ參籠ロ事シ

古年童子發心ハシ事シ

上人師シ匠カ還カ弟子ト成リ給フ自證セツ事シ

藤原宗貞サタ道場建立シ事シ

大原顯真シ僧都シ事シ 同大原問答シ事シ

顯真法印シ一向專修シ事シ

慈鎮シ和尚シ事シ

日吉聖真シ子拜殿七箇日念佛シ事シ

四天王寺シ事シ

妙香院僧正念佛歸スル事シ

計六

高野明遍シ僧都シ事シ

明遍僧都四天王寺夢中シ事シ

上人與明遍對面シ事シ

明遍僧都夢中念珠數遍シ事シ

明遍往生シ事シ

黒衣上人傳繪詞第十一卷

第一段

諸人ノ歸依アサカラサリシ中ニ九条ノ関白殿下兼實  
後法性寺殿信仰他ニコトニ崇重比類ナカリキ二月十  
号又月輪殿九日法性寺殿ノ御忌白ニ御佛事アリケルニ傳供ノト  
事ナリ事ナリ上人モ傳供ニ立給ヘシト殿下オホセコトアリケシ  
ハ松殿基ハ松殿房公マコトニサ候ヘシト申給フ上人ハ隱遁ノ身  
タルウヘタルウヘ九僧九僧ニテオハスルニ慈鎮和尚于時受戒ノ師範  
タルニ怨タルニ怨セラレテ上人ヲ座上ニヒキ申サレケレハ菩提山ノ  
僧正僧正圓信圓信オナシク上座ヲユツリタテツリタマフ上人兩僧正

ノ上ニ立テ。松殿俗ノ一座ニテオハシマシケルニカヒテ。僧ノ一  
座ナリケリ。道德ノイタリ。イミシキコトニモ侍ヘル哉

第二段

月輪殿ヲツクラシケルニ例モナキ屋ヲ一宇指圖ヲクサシ  
テ。多テサセラレケリ。殿下ノ御所オホク見候ヘトモ。カ、ル屋  
イ、々見候ハスト。奉行ノ三位範季卿申サレケレハ。思食  
様アリトテ。イソカセラレケレハ。ツツクリタテ、シケリ。何事ノ  
御断ニカトオモフ程ニ。ハヤ上人ノヤスミトコロナリケリ。老若  
ニテオハシセハ。マツコ、ニテヤスメタテマツリテ。ノチニ。御對面  
アラシタメニテツアリケル。御歸依ノアマリ。コレニテノ御沙汰  
ニツヨヒケレハ。類ナクアリカタキコトニツ。時ノ人申アヘリケル

第三段

アル時上人月輪殿へ参シタマヘル。殿下御ハダシニテ。オリ  
ムカハセタマヘハ。聖覺法印三井ノ大納言ノ僧都覺心オ  
ナジク。オリムカヒ。恐々セラレケリ。上人僧都ヲアヤシゲニ見タ  
マ。聖覺アレハ。大納言僧都御房候ト申サレケレハ。僧都  
トリアヘス。覺心トナノリ申サレキ。コ、ロハ大納言モ僧都モ  
世ニオホケレハ。實名ニテソレト知シタテマツラントナリ。殿  
下加様ニセサセタマヘハ。マシテ。相雲客ノヨリサハカル、コ  
ト。ゴトハリナリ

第四段

建久八年上人イサ、カナヤミタマフコトアリケリ。殿下フ

カク御ナゲキアリケル程ニイクホトナクテ平ア愈シタマヒニケリ。  
上人オナシキ。九年正月一日ヨリ。草菴サヤ下子コモリテ。別  
請ヒクニオモムキタマハサリケル。藤右衛門尉重經ヒゲシヲ御使ト  
シテ。浄土ノ法明年來教誡ケツヲ承ルトイヘトモ。心腑ココロニヲサ  
メカタシ。要文ヨウモンヲシルシ給テ。且ハ面談オモヒニチスラヘ。且ハ後ノ御  
カタニモソナヘ侍ラント。仰セラレケレハ。安樂房アノク外ソト記キ入イ道ダウ  
ヲ執筆シツトシテ。選擇セツ集シツヲ選セラレケルニ。第三ノ章ヤク書ショ寫シャノ  
トキ。予モシ筆ヒツ作サクノ器ツツニタラスハ。ガクノコトクノ會座ケイザニ參マセサ  
ラシト。申ケルヲ。聞給キテ。コノ僧ソウ憍慢ケウマンノ心ココロフカクテ。惡道  
ニ墮ダシナシトテ。ゴシヲシリクケラレニケリ。其後ハ真觀シンカン房ボウ感カン西  
ニ。書セラレケル。此書ヲ選進セラシテ。後同年五月一日

上人ノ夢ノ中ニ。善導ゼンドウ和尚オウショウ來キ應オウシテ。汝ニ專修センシュ念佛ニホフヲ弘ク  
通ツスルユヘニ。殊コト更マ來キルナリト。レメシタラ。此書コノカキ真慮シンリョニカテヘル  
コト知ヌヘシ。ブカク信受スルニタレリ

第五段

殿イノ下カノ御歸依ミカエアサカラスシテ。上人參マシタマフゴトニ。殿イノ下カ  
オリムカハセタマヘハ。公卿キウケイ殿イノ上人オウジン。オリサハカル。コトヲ。上人  
ウルサキコトニ思オモ給タマテ。九條殿クジョウヘ。イリタマハサラシタメニ。房ボウ  
籠カゴトテ。別請ヒクニオモムキタマハス。イツカタヘモ。アリキタマハサリケ  
ル。殿イノ下カシキリニ。御ナゲキアリテ。タトヒ。房籠ボウカゴナリトモ。身ミニ違ヒ  
例レイナンドノ。パンヘラントキハ。來リ給タマナシカト。仰セラレケレハ。サ  
様ノ御時ミトキハ。子細コジヨリニ及キビ。パンヘラスト申サレケレハ。セメテモ。請ヒク

申サレントテハ。常ニ御違例トシ。号セラレケル。此ノ上ヘハ。辭レ申スニ。トコロナクシテ。參給ケルヲ見テ。門弟正行房心中ニ哀シ房籠トテ。餘ノ所ヘハ。マレマサスシテ。九條殿ヘノミ。參給コト。レカシナカラ。檀越ヲヘツラヒ給トコソ。人ハソレリ申サンスレ。レカルヘカラヌ。ワザカナト思テ。子タル夢ニ。汝ハ我レ九條殿ヘ參ルコトヲ。ソレリヲモフナト。仰セララル。ニイカテカサルコト候ヘキト申セハ。汝ハ甘思ナリ。九條殿ト我トハ。先生ニ因縁アリ。餘人ニ准スヘカラス。宿因カキリアルコトヲ知スレテ。謗スル心ヲ。ヲコサハ。定テ罪ヲ。タヘキナリト。仰セララルト見テ。サメテノチ。上人ニ。ゴノ由ヲ語リ申シケレハ。サテサソカシ。先生ニ因縁アルコトナリトソノタミヒケル。御歸依他ニ

コトナルホト。マコトニ。タハコトニアラスソ。オホヘハンヘル

第六段

殿下ヒトヘニ。念佛門ニ入り給ニレノチハ。浮生ノ榮耀ヲカロクシテ。往生淨土ノ御イトナシ。他事ナカリキ。ツ井ニ建仁二年正月二十八日。月輪殿ニシテ。御素懷ヲ。トケラル。上人ヲ和尚トシテ。圓戒ヲ受持シ。御歸依ス。ス。カ、リケリ

第十二卷

第一段

大炊御門左大臣。經宗所勞ノトコロニアル人ノ方便ニテ。上人ヲ知識ニ請シ申サレケリ。念佛往生ノコト。日比イ

ト沙汰ニシヨハヌ入ニテ。左右ナク。勸進ノコト。中々アレカル  
 へカリケレハ。上人ノハカリコトニテ。屏風ヲヘタテ。アル僧トナ  
 ニトナク法門ヲオホセラレケルニ。天竺晨且我朝ニテ。佛法ノ  
 傳ハレル次第ナント。ユ、シク。仰セラレタテ。念佛往生ノ未  
 代相應ノ法ナルコト。宣説シタマフニ。左府コシラキ、  
 タマヒテ。信仰ノコ、ロオコリ給ニケレハ。一スチソノ勸化ニ  
 タカヒ。歸敬他ニコトナリキ。生年七十上。文治五年二月  
 十三日。出家ヲトケラレケリ。法名金剛覺。寬平法皇ノ  
 御名タル由在茂申スア  
 改云法性覺。後所勞次第三危急ノ間。同二十七日ヨ  
 リ。上人參住シテ。念佛ヲス、メ申サル翌日辰尅臨終正  
 念ニシテ。往生ヲトケ給ニケリ。上人ノコ、ロバセ。マコトニカ

レコソ。ハンヘリケル

第二段

花山院左大臣兼雅公ハ。フカク上人ニ歸シタマヒテ。鎮西庄  
 園ノ土貢分テ。毎年ニ施入セラレケリ。我ハ院内ヨリホカハ  
 車々テタルコトナシ。シカレトモ。法然上人ノ菴室ニ車々テタ  
 ランハ。ナニガ。クルシカルヘキトテ。ツ子ニワタリ給テ。圓頓戒ヲウ  
 ケ。念佛ノ法門ヲ。談セラレケリ。生年五十四。正治二年七  
 月十四日ニ。出家ヲトケ。同十六日ニ。往生ヲトケラレケル  
 トナシ

第三段

右京ノ權大夫隆信ノ朝臣ハ。フカク上人ニ歸シ。餘佛餘



行ヲサレヲキテ。又、彌陀ノ一尊ヲアカメ。ヒトヘニ念佛ノ一  
行ヲツトム。ツ井ニ上人ニシタカヒテ。建仁元年ニ出家ヲトケ。  
法名ヲ戒心ト號ス。一向專念ノホカ。他事ナカリケリ。生年  
六十、四ノ春。所勞危急ニヲヨフ。上人キ、給テ。住蓮安  
樂ニ一人ノ門弟ヲツカハシテ。知識トセラレケリ。ステニオハリニ  
ノソムニ。二人ノ僧ヲ左右ニヲキテ。病者ト知識ト同音ニ。  
念佛シ。來迎ノ讚ヲトナヘ。端坐合掌シテ。往生ヲトク。元  
久元年二月二十二日ナリ。紫雲音樂以下ノ奇瑞一ツ  
ニアラス。後ニ正信房カノ墓所ニ向テ。念佛シタマフニ。異香  
ナラウセス。日本往生傳ニシルシ入レラレケルトナム

第四段

卿ノ二品ノ弟民部卿範光ハ後鳥羽院ノ寵臣ナリ。ヒト  
ヘニ上人ニ歸シテ。稱名ノホカ。他事ナカリケリ。生年五十  
四ノ春。兼元々々。年三月十五日ニ出家ヲトケ。法名ヲ靜  
心ト号ス。病惱危急ノ由。キコレメサレケレハ。レノヒテ。御幸  
アリケリ。後生ノコトイカ、思ヒサタメ。パンヘルト。御タツ子アリ  
ケレハ。今度ノ往生決定シテ。サラニウタガフトコロ候ハス。ソノ  
コヘハ。去夜ノユメニ。一人ノ高僧キタル。誰人ニマシテ。ソト  
問ニ。我ハコレ源空ナリ。唐土ニシテハ。善導トナツケ。此ノ土ニ  
シテハ。源空トイフ。此界ニ來テ。衆生ヲ。ミチヒクコトモステニ。三  
箇度ナリ。イマ汝ニ命終ノ期ヲ。レメサンカタメニ。來臨ス。明  
後日午ノ尅。ソノ期ナルヘレト。ノ給ト見テ。夢サメハンヘリ。又。

ステニ。冥ノ造告ニアツカレリ。往生ムナレカルヘカラサル由ヲ  
存スト申ス。コレヲ聞食サレテ。フカク御隨喜アリケリ。件ノ  
日。時スコシモ。タカハス。正念ニ安住シ。稱名相續シテ。往生  
ヲトク。不思議ノコトナリケリ

第五段

大宮ノ内府 實宗ハ歸敬ノ志シ。他ニコトニオハセシカハ。ツ子  
ニ上人ニ謁シテ。念佛往生ノミチヲアキラメ。ツ井ニ上人ヲ  
和尚トシテ。建永元年十一月二十七日。出家ヲトケ。專  
修ノツトメ。ヲコタリタマハス。上人ノ入滅ヲカナレミテ。初七  
日ノ諷誦ヲサケラレキ。生年六十七。建曆二年十一月  
月八日。正念タカハス。念佛相續シテ。往生ヲトケラレニケリ

第六段

野ノ宮ノ左大臣 公繼ハ師弟ノ契リ。アサカラサルニ依リ  
テ。興福寺ノ衆徒。上人ノ念佛真行ヲソ子ニ申シテ。奏聞  
ニ及レトキハ。上人ナラビニ弟子權大納言 公繼ヲ遠流セ  
ラルヘキ由。申狀ヲサケトイヘトモ。サラニソノコハ。口サシテ。ア  
ラタメス。專修ノツトメ。ヲコタルコトナクシテ。生年五十三。嘉  
祿三年正月廿三日。職ヲ辞シ。同シキ晦日ニ。種々ノ  
奇瑞ヲアラハシテ。往生ヲトケ。イマニ末代ノ美談トナリ給ヘ  
リス。ヘテ月姫雲客ノ中ニ。化導ニ歸スル。人才ホク。侍ヘリシ  
カトモ。シゲキニヨリテノセス

第十三卷

第一段

聖護院ノ無品親主 靜惠 御違例ノ時。醫療術ヲツクサ  
 ルトイヘトモ。シルシナカリケレハ。門徒ノ上総 宰相僧正行  
 舜大貳僧正公胤以下ノ人々。信讀ノ大般若經ヲ轉  
 讀シテ。祈禱ヲイタサル。コノ人々ハ。三十佛家ノ鸞鳳僧中  
 ノ龍象ナリキ。レカレトモ。ステニアヤウク。オハシマレケレハ。コノ人々  
 ヲサレシカレテ。上人ヲ召請セラレニ。御使ニ度マテハ。カタク  
 辭退シテ。マイリタマハス。第三度ノ御使ニ宰相律師實昌  
 ト云。人來臨シテ。理ヲマケテ。一度マイリタマヒテ。念佛ノコト  
 申シ。キカセマイラセサセ給ヘトテ。引立ル様ニセシカハ。ゴトニ  
 往生シマシマスヘキ人ニテモヤ。マシマスラントテ。ヤカテ律師ノ

車ニノリ具シテ。マイリタマヒヌ。親主御對面アリテ。イカ、シテ。  
 コノタヒ生死ヲハナレハンヘルヘキ。後生タスケ給ヘト。仰ラレ  
 ケレハ。上人臨終ノ行儀ヲ談シ申サシ。彌陀ノ本願ノオモ  
 △キヲ。ノヘタマフニ。親王感涙シキリニ。クタリタマヒ。歸敬ノタ  
 ナコ、ロヲソ。合セラレケル。上人ハヤカテカヘリ給ニケレハ。次ノ  
 日御往生アリケルニ。最後ニ念佛一萬五千遍申サセ  
 給テ。念佛ト。トモニ御イキト、マリ給ニケリ。諸人隨喜ノタテ  
 コ、ロヲ合せ。上人ノ徳ヲノホメ申シケル。實昌律師後ニ御  
 往生ノ様ヲ上人ニ語り申サレケレハ。上人モヨロコヒ申サ  
 レケリ

第二段

延曆寺東塔竹林房ノ靜嚴法印吉水ノ禪房ニイタリ  
テ。イカ、レテ。コノタヒ生死ヲハナレ候ヘキトノ給ケルハ源空  
コソ尋申度ハンヘルト。コタヘ給ケルニ。法印又決擇門ハサ  
ルコトニテ。出離ノ道ニラキテハ。智德イタリ。道心フカクマシ  
マセハ。定メテ案立ノ義候ラント申サルレハ。源空ハ彌陀ノ  
本願ニ乘シテ極樂ノ往生ヲ期スル外ハ。マタク知コトナシ  
ト。法印申サル、様。所存モカクノコトシ。義言ヲウケタマハリ  
テ。愚暗ヲカタクセシカタメニ。尋申ストコロナリ。タ、レ妄念ノ  
キホヒ。オコリ侍ルヲハ。イカ、レ候ヘキト。上人ノ給ハク。コレ煩  
惱ノ所爲ナレハ。凡夫ノカラ及ヘカラス。タ、本願ヲ憑テ  
名號ヲ唱フレハ。佛ノ願力ニ乘シテ。往生ヲラト知レリト。

法印信心決定シ。疑念タチマチニトケヌ。往生サラニ疑ナシ  
トテ。退出シ給ケリ

第三段

上人清水寺ニシテ。説戒ノ次テニ。罪惡ノ凡夫ナシトモ。本  
願ヲタノミテ。念佛スレハ。往生ヲタガヒナキム子。子ノコロニス、  
メタマヒケレハ。寺家ノ大勸進沙彌印藏フカク本願ヲ信  
ジ。ヒトヘニ。念佛ニ歸ス。コレニ依テ。文治四年五月十五日。  
龍山寺ヲ道場トシテ。不断常行念佛三昧ヲハシメシニ。  
能信ト云ヘル僧。香炉ヲトリテ。開白發願シテ。行道スルニ。  
願主印藏寺僧等ナラヒニ。比並比並尼。ソノ數ヲ知ラス。  
結縁シケリ。ソノ行今ニ退轉ナシ。阿彌陀堂ノ常行念佛

ト號スル是ナリ。抑清水寺ノ靈像ハ極樂淨土ニハ一生  
補處ノ薩埵婆羅國ニハ施無畏者ノ大士ナリ。仁和  
寺ノ入道親主ノ御夢想ニ觀音三ツカラノタマハク。清水  
寺ノ瀧ハ過去ニモコシアリキ。現在ニモコシアリ。未來ニモコ  
シアルヘシ。是則大白如來ノ鏡字ノ智水ナリトテ。一首ヲ  
詠シタマフ  
清水ノ瀧ヘミイシハヲノツカラ。現世安穩往生極樂ト  
シメシ給ケルハ。大威儀師俊縁ヲ御使トシテ。寺家ヘ仰せ  
送ラケルトカキ。コトニゾノタノミ深カルヘキモノナリ。上人ノ  
勸化ニヨリテ。コノ砌ニシテ。不斷念佛スルシメケルモ。由有  
ルコトニヤ。侍ヘルラズ

第四段

南都興福寺ノ古年。董ハ上人清水寺ニテ說戒ノ時。念  
佛ス。メ給ヲ聞テ。歸敬渴仰ノアマリ。發心出家シテ。松  
苑寺ノホトリニ菴リヲ結テ。念佛シケルカ。井ニ靈瑞ヲ感シ。  
高聲念佛シテ。往生ヲトク。能信ト云僧。如法經ノカウツ  
ヲウエナカラ。往生人ニ縁ヲ結ハンガタメニ。棺ノサキノ火ノ  
役ヲツトメテ。カヘルニ。異香衣ノウヘニ薰ス。人々奇特ノ思  
ヲ成シ。信心ヲマス者。オホカリナリ

第五段

建仁二年三月十六日。上人語テノタマハク。慈眼房ハ受  
戒ノ師範。尤ウヘ同宿シテ。衣食ノ二事一ノ向。コノ聖リノ

扶持ナリキ。然レトモ。法門ヲ悉ク習タルコトハナシ。法門ノ  
義ハ水火ノコトク相違シテ。ツ子ニ論談セシナリ。コノ聖ト源  
空トハ南北ニ坊ヲナラベ。住レタリシニ。アル時聖リノ居シタマ  
ヘル坊ノマエラスクルニ。聖リ見タマヒテ。アノ御房カトヨヒ給  
ヘハ。留リテ縁ニ居テ候ト申スニ。大乘ノ實智ヲコサテ。浄土  
ニ往生シテシヤト。ノ給ニ。往生シ候ヒナシト。答申ストキ。ナニ  
ニサハ。見エタルソト。ノタマフ間。往生要集ニ。見エテ候ト申ス。  
往生要集ノ中ヲモ。見給タルソト。ノ給間。イサタシカ中ヲ  
見タルヤラント申シタシハ。聖腹立テ枕ヲモテ。投打ニツキタ  
マヘハ。ヤハラニケテ。我カ坊ノカタヘ。マカリタシハ。クテオウシテ。ハ  
ハキノ柄ヲモテ。肩ヲウキナシトシタマヒキ。又後ニ文ヲモテ。オウ

シテ。コレハイカニ云コトソト。ノ給ヲ。心ノ中ニ無益ナリ。事ノ出  
クシハイマハ物申サシト誓ヲオコシテ。イガイカ、候ラント申  
タシハ。又腹立テ。ソシラカ様ナル人ヲ。同宿シタルハ。加様ノ  
事ヲモ。云合せニ料ニテコソアレト。ノ給キ。加様ニシテ。ツ子ニ  
イサカヒハ。セシカトモ。最後ニ。覺悟房ト云シ聖ニ。二字ヲカ  
カセテ。カヘリテ。弟子ニ成テ。坊舎聖教ノユツリ文ヲモ。モトハ  
讓渡スト。書シタリシヲ。トリ返シテ。進上ト書テ。ホシテ。タヒテ。  
生々世々ニ。タカヒニ。師弟ト成ラン料ニ申スト。ノ給キ。真  
言ノ師範ナリシ。相摸阿闍梨重冥モ。最後ニハ受戒ノ弟  
子ニナリテ。戒ヲウケタマヒキ。正シク三部ノ灌頂ヲサツケタ  
マヒシ。丹後ノ迎攝房モ。カヘリテ。弟子トナリテ。顯宗ノ法

門ナラビニ。浄土宗ノ事ヲハ源空ニ習テ。ツ井ニ往生ヲトケ  
ニキ。當時ノ院主僧都圓長ハ重圓阿闍梨ノ真言ノ弟  
子ナレハ。源空ニハ同朋ナリ。シカルニ。カノ圓長真言ノ教  
相ヲ重宴阿闍梨ニ問ケレハ。心ニハオホユレトモ。我ハ非學  
生ニテ。エ云ヒラカヌソトヨ。法然房ニ問テ。イハセテ申サント重  
宴ノタマヒケレハ。圓長モ後ニハ弟子ニ成テ。物習ント云テ  
ヤカテ受戒シテ。師弟ノフルマヒニテアリキ。寂初ノ師範ナリ  
シ。義作ノ觀覺得業モ。弟子ニナリテ。源空ヲ戒師トシテ。  
受戒シ給キ。オホク師範ミナ弟子ト成給シ中ニモ。當時ノ  
碩學共ノ慈眼房ノ受戒ノ弟子ナラヌハナキニ。ソノ師ノ  
慈眼房ノカヘリテ。弟子ニ成給タルコトハ。不思議ノ事トコ

ソ。オホユレナント。サマサマカタリ給ヘハ。キク人皆隨喜シ不思  
議ノ事ナリトソ。申アヒケル

第六段

左衛門志藤原ノ宗貞ナラヒニ。妻室惟宗ノ氏女。夫婦  
心ヲ一ニシテ。堂舎建立ノ嚴願ヲナシ。雲居寺ノ北東ノ  
頰ニ。ソノ地ヲシメ。建仁元年四月十九日ニ上棟シ。同二  
年春ノ比。ソノ功ステニ終テケリ。本尊ハ阿彌陀ノ像脇士  
ハ。觀音地蔵ヲ安置シタテマツル。同年ノ秋ノコロ。上人吉  
水ノ御房ヨリ。雲居寺ノ勝應彌陀院へ百日參詣シ給  
シ時。願主宗貞門前ニ蹲居シテ。堂舎建立ノ旨趣ヲへ。  
御供養アルヘキ由ヲ望申ケレハ。上人堂内ニ入給テ。佛

像安置ノ體ヲ御覽セラレ。コノ堂ハ源空供養スヘキ堂ニ  
アラストテ出ラレニケリ。願主ソノ心ヲ得ズレテ。周章スルト  
コロニ。或人申レテ云。上人ハ勢至菩薩ノ垂跡ニ。ミレニスト  
云コト。人ロア子シ。シカルニ脇士ニ。勢至菩薩ノ。マレマサ、  
ルコト。上人ノ御心ニ違スル歎ト。申シケレハ。イソキ勢至菩  
薩ヲ造立シ。本ノ地藏ヲハ。異所ニ渡シタテマツリ。ソノ跡ニ  
勢至菩薩ヲ居タテシリテ後。上人又雲居寺御參詣  
ノ時。建仁二年八月晦日。カサ子テ。案内ヲ申ス。廼ニ。相  
違ナク。供養ヲトケラレニケリ。別ノ御啓白ナシ。タ、念佛千  
反ヲ唱ヘタミヒ。ヤカテ不断念佛ヲ始行セラレ。寺號ヲ引  
攝寺トツケラル。コノ堂イマニアリ。勢至菩薩ノ後口ニ。スヘタ

テツル。地藏コレナリ

第十四卷

第一段

天台座主権僧正顯真イマタ大僧都ニテ。オワセレトキ。  
兼安三年生年四十二ニシテ。官職ヲ辞シ。菩提ヲ求テ。  
大原ニ籠居。春秋四箇年ニ及フトコロニ。安元二年七月  
八日。建春門院崩御ノ間。カノ御菩提ノ爲ニ。法住寺ニ  
新法華堂ヲ立ラシ。七々ノ御息ヲ迎ヘテ。同八月廿五  
日ニ。行法ヲハシメラシシ。ソノ先達ニ。叡山法華堂ノ一和  
上位正覺房真慧ヲ召サシ。カハ。勅定ニシタカヒシ時。大  
原ノ僧都。カノ闕ヲソソミテ。聊宿願ノ事侍ヘリ。シハラタ。入



衆アルヘカラサル由。堂中ヲシラクリテ後。同九月一日。子  
ノ尅ニ登山シ。則參堂シテ。一衆ニ列シ。藤次ニマカセテ。三  
床ノ二和尚ニ著シ。又ノ尅一時ツトメラシテ。後一床一  
和尚ニツキタマヒテ。ソノ千八。禪光坊顯明ヲ代官トシテ。  
三。大師天台傳ノ御忌日以下。大小ノ課役等ミナ新  
入ノコトク。勤仕セラル。又四季ノ懺法ノ初夜ノ時ニハ。カ  
ナラス。參堂シタヒキ。是則出離ノ道。タヤスカラサルコトヲ。ナ  
ゲキテ。名利ノ學道ヲノカシ。籠居ストイヘトモ。決定出離ノ  
直路。思索イマタ。一決セス。晝夜ニ此事ヲノミナケク。觀ニ。  
十二禪衆ノ闕ヲ聞トキ。カノ半行半座ノ行法ハ。天台  
大師御筆ノ法華經ヲ本尊トシテ。傳教大師弘仁三

年七月ニ。草創シタマヘル。要行ナリ。コレ生死解脫ノ直  
路トヘシト。思ヒヨリ給テ。十二禪衆ニ列シ給ニケリ。毎日  
毎時ノツトメニ。懺法一巻ヲ。久ハ修スルコトハ。カノ僧都ハ  
シメヲカレシカハ。一衆同心シテ。ソノ行イニヲコタラス

### 第二段

其後八箇年ノ歳曆ヲスキテ。壽永二年九月二日。吉ノ  
御幸ノ時。座主明雲ノ賞ヲコツリテ。法印ニ叙セラルトイ  
ヘトモ。カタク松門ヲトキ。ヒソカニ。蓬屋ニ居シテ。コトニシタカハ  
ス。タ、生死ノ出カタクコトヲノミナケク。同シキ法流ヲクメル  
ヨシミヲモテ。ツ子ニ求弁ヤブ法印ト出離ノ道ヲ。カタリアハセ給  
ニ。カクノコトキノコトハ。法然上人ニ御尋アルヘキ由ヲ。永弁

申ケルニ。ツキテ。相摸房ト云者ヲ。使者トシテ。登山ノ便宜  
ニガナラス音信セシメ給ヘ。申承ルヘキコト。侍ヘル由仰セラ  
シタリケレハ。上人坂本ヘ渡リ給テ。カクト申サレケリ。法印  
オワシマシアヒテ。對面シ。ゴノタヒイカ、シテ。生死ヲハナシ。侍ヘ  
ルヘキトノ給ニ。上人イカニモ。御計ヒニハスクヘカラスト。法印  
申サレケルハ。先達ニミシセハ。定メテ思定メ給ヘル旨アル  
ラン。シメシタメトナリトノ給ヘハ。上人自身ノ爲ニハ。イサハ  
カ。思定メタル旨候。タハヤク。極樂ノ往生ヲトケ候ヘシト。  
申サレケレハ。法印順次ノ往生。トケカタキユヘニ。ゴノ尋シイ  
タスイカ、シテ。ゴノタヒ。タヤスク。往生ヲトクヘキヤトノ給フ時。  
上人答ヘタニ。ハク成佛ハカタシトイヘトモ。往生ハ得ヤスシ。道

綽善導ノ心ニヨシハ。佛ノ願カラ強縁トシテ。亂想ノ凡夫  
淨土ニ往生スト。其後タカヒニ。言説ナクシテ。上人カヘリ給  
テ。後法印ノ給ケルハ。法然房ハ。智慧深遠ナレトモ。聊サカ  
偏執ノ過アリト。上人コノ事ヲカヘリキ、給テ。我カ知サル  
コトニハ。カナラス疑心ヲオコスコトナリトノ給ケルヲ。法印又  
カヘリキ、給テ。マコトニ然ナリ。我々顯密ノ教文ニ。經首古ヲ  
ツトムトイヘトモ。シカレナカラ。名利ノ爲ニシテ。淨土ヲ心サ、  
サルコヘニ。道綽善導ノ釋義ヲウカハス。法然房ニアラスハ。  
タレカ。カクノコトクノ。コトハヲイタスヘキヤトテ。コノ語バニハキテ。  
百日ノ間。大原ニ籠居シテ。淨土ノ章疏ヲ。披閱シタマヒ  
テノチ。ステニ。淨土ノ法門ヲコソ。見立侍タシ。來臨シテ。談セ

レメ給へト。仰せラレタリケレハ。文治二年秋比。上人大原  
 へ渡リ給フ。東大寺ノ大勸進俊乘房重源イマタ。出離  
 ノ道。オモヒ定メサリケルヲ。哀レミ給テ。コノ由ヲ告仰セラシ  
 タリケレハ。弟子三十余人ヲ相具シテ。大原ニムカフ。勝林  
 院ノ丈六堂ニ會合ス。上人ノ方ニ。重源以下ノ弟子  
 共ゾノカスアツマレリ。法印ノ方ニ。門徒以下ノ碩學并ニ  
 大原聖達坐レツラナレリ。山門ノ衆徒ヲハシメテ。見聞ノ  
 人オホカリケリ。論談往復スルコト。一日一夜ナリ。上人法  
 相三論華嚴法華真言佛心等ノ諸宗ニワタリテ。凡夫  
 ノ初心ヨリ。佛果ノ極位ニイタルマテ。修行ノ方軌得度ノ  
 相負ツフサニ。タヒテ。是等ノ法。ミナ義理ヲカク。利益スク

シタリ。機法相應セハ。得達クヒスヲ。廻ラスヘカラス。タハシ源  
 空ゴトキノ頑愚ノタクヒハ。サラニツノウツハモノニアラサルユ  
 へニ。サトリガタク。マドヒヤスシ。シカル間。源空發心ノ後。聖道  
 門ノ諸宗ニツキテ。ヒロク出離ノ道ヲトフヲラニカシモカタク。  
 コレモカタシ。是則世々タリ。人ヲロカニシテ。機教アヒソムクユ  
 へナリ。シカルヲ。善導ノ釋義。三部ノ妙典ノコハ。口。彌陀ノ  
 願カヲ強縁トスルユヘニ。有智無智ヲ論セス。持戒破戒  
 ヲエラハス。無漏無生ノ國ニムシテ。ナカク不退ヲ。證スルコ  
 ト。タハコレ淨土ノ一門。念佛ノ一行ナリトテ。法藏比丘ノ因行  
 ヲリ。彌陀如來ノ果德ニイタルマテ。理ヲキハヌ。詞ヲツクシオハリテ。  
 タハシコレ涯分ノ自證ヲノフルハカリナリ。マタク。上機ノ解

行ヲサマタケントニハアラストノタマヒケレハ。法印ヨリハシメテ。  
滿座ノ衆ミナ。信伏シニケリ。カタチヲ見レハ源空上人。マコ  
トニ。彌陀如來ノ應現カトソ。感談シアヘリケル。法印香  
爐ヲトリ。高聲念佛ヲハシメ。行道シタラニ。大衆ミナ同音  
ニ。念佛ヲ修スルコト。ニ。日ニ。夜。コエ山谷ニミチヒ、平林  
野ヲウコカス。信ヲオコシ縁ヲムスフ人。オホカリキ

第三段

法印道心ウチニ催シテ。出離ノ要路ヲモトメラシケルニ。上  
人ノ諷諫ヲ得給テ後ハ。タチトコロニ餘行ヲ指置テ。一向  
專修ノ行者トナリ給ニケレハ。自身ノ出離ヒトヘニ。念佛  
往生ヲ期シ給ノミニアラス。剩サヘ。又他人ヲス、メラシキ。

姨ノ禪尼ヲス、メンタメニ。念佛勸進ノ消息ヲツカハサル。  
世間ニ流布シテ。顯真ノ消息ト号スルコレナリ。ソノ詞ニ  
云。我々佛ヲ念スレハ。佛我ヲ照シ給フ。光明我ヲテラセハ。  
罪障キエスト。イフコトナシ。藥王樹ニフル、モノハ毒ナシトモ。  
クスリトナシ。光ヲカウフランモノ。タシカ罪障ノコリアラン。カクハ  
カリヤスキ行ヲ。無數劫ノアヒタ。思ヨラサリケル。カナシサヨ。時  
過タル智慧禪定ヲ修行セムヨリモ。利益現在ナル。光明  
名號ヲ稱念スヘシ。一行スナハキ。一切行ナレハ。念佛ノ一  
行ニ。諸行コトコトクヲサマリ。一念スナハキ。無量念ナレハ。一  
稱彌陀ナシノ不足カアラン。法界宮ニイラントオモハ。極樂  
ノ東門ヨリ入レ。法身體ヲ證セントオモハ。彌陀ノ名號

ヲトナフヘシ。道<sup>タチ</sup>綽<sup>タチ</sup>ハ講<sup>タチ</sup>説<sup>タチ</sup>ヲステテ。一向ニ念佛ニナリ。善導  
 ハ難行ヲキラヒテ。專修ヲス、ム。占<sup>ウ</sup>畠<sup>ノ</sup>ノ林ニイタリヌレハ。餘  
 香ヲカ、ス。淨名ノ室ニ入ヌレハ。功德ノ香ヲノミカク。コノ山  
 ニ入ラシ人ハタ、念佛ノ香ヲノミカキ。念佛ノ音ヲノミキク  
 コトニナレ候ハ、ヤ。取<sup>テ</sup>詮<sup>ル</sup>。文<sup>ノ</sup>治<sup>ノ</sup>二年十一月廿九日。護<sup>コ</sup>摩<sup>ト</sup>  
 堂尼御前ヘト云。法印專修ノ身トナリ。念佛ヲ行トシ給  
 シコト。コノ消息ニ明ラカナリ。又十二人ノ衆ヲ定メテキテ。  
 文治三年正月十五ヨリ。勝<sup>セ</sup>林<sup>リ</sup>院ニ不斷念佛ヲハシメテ  
 コナハレシニ。法印ハ十二人ノ隨<sup>イ</sup>上<sup>ニ</sup>。三<sup>ニ</sup>。成<sup>イ</sup>尅<sup>コ</sup>ヲソツトメ給  
 ケル。開白ノ夜ハ十二人皆參<sup>リ</sup>。行道シテ。同音ノ念佛ヲ  
 修スルニ。毗<sup>ヒ</sup>沙<sup>キ</sup>門<sup>ト</sup>夫<sup>ト</sup>主<sup>ト</sup>列<sup>ニ</sup>立<sup>チ</sup>給<sup>ヘ</sup>リケルヲ。法印マノアタ

リ拜シタマヒテ。良<sup>リ</sup>忍<sup>ミ</sup>上人ノ融<sup>ユ</sup>適<sup>ツ</sup>念佛ニ。鞍<sup>ウ</sup>馬<sup>ラ</sup>寺ノ毗<sup>ヒ</sup>沙  
 門<sup>ト</sup>天<sup>ノ</sup>王<sup>ク</sup>ミ<sup>シ</sup>タマヒ。剩<sup>ヘ</sup>諸<sup>ノ</sup>天<sup>ノ</sup>善<sup>ノ</sup>神<sup>ヲ</sup>ス、メイ<sup>シ</sup>給<sup>ヒ</sup>ケル  
 コトモ。思<sup>ヒ</sup>合<sup>セ</sup>セラレ。イヨイヨ信心ヲ<sup>シ</sup>。貴<sup>ク</sup>オホヘケレ。念佛  
 守護ノ爲ニ。毗<sup>ヒ</sup>沙<sup>キ</sup>門<sup>ト</sup>夫<sup>ト</sup>主<sup>ト</sup>ヲ當<sup>タ</sup>室<sup>ニ</sup>ノウチニ。安<sup>ア</sup>置<sup>セ</sup>セラケリ

第四段

法印一ノ大願ヲタテ、云ク。コノ寺ニ五坊ヲタテテ。一向  
 稱<sup>ホ</sup>名<sup>ヲ</sup>相<sup>サ</sup>續<sup>ク</sup>シテ。餘行ヲマシヘツトメシト。ソノ願ムナシカラス。  
 ツ井ニ。文治三年十月ニ。六<sup>タ</sup>サレニケリ。池上ノ阿<sup>ア</sup>闍<sup>カ</sup>梨<sup>リ</sup>皇<sup>ク</sup>慶<sup>ケ</sup>  
 ノ舊<sup>キ</sup>跡<sup>ヲ</sup>護<sup>シ</sup>法<sup>ノ</sup>守<sup>ノ</sup>護<sup>ノ</sup>靈<sup>ノ</sup>地<sup>ニ</sup>。五坊ヲ立。楞<sup>レ</sup>嚴<sup>ン</sup>院<sup>ヲ</sup>安<sup>ア</sup>樂<sup>ク</sup>ノ谷<sup>ニ</sup>  
 ラツシテ。新<sup>シ</sup>安<sup>ア</sup>樂<sup>ク</sup>ト號<sup>シ</sup>。性<sup>ノ</sup>智<sup>ノ</sup>房<sup>ノ</sup>境<sup>ノ</sup>智<sup>ノ</sup>房<sup>ノ</sup>妙<sup>ノ</sup>智<sup>ノ</sup>房<sup>ノ</sup>佛<sup>ノ</sup>智<sup>ノ</sup>  
 房<sup>ノ</sup>勝<sup>ノ</sup>智<sup>ノ</sup>房<sup>ト</sup>ソツケラレケル。イマニ退<sup>ア</sup>轉<sup>セ</sup>セストナンカノ時<sup>ノ</sup>大<sup>ノ</sup>

佛ノ上人俊乘坊又ツノ意樂ヲオコレテ我國ノ道俗  
 炎魔王宮ニヒサマツキテ名字ヲ問レントキ佛名ヲ唱へ  
 シメンタメニ阿彌陀佛名ヲツクヘシトテミツカラ南無阿  
 彌陀佛トソ號セラレケルコレ我朝ノ阿彌陀佛名ノハシ  
 メナリ

第五段

其後三キノ衆徒ヲシテ舉レ申スニヨリテ文治六年三  
 月七日天台座主ニ補セラルト云ヘトモカタク辞シ申給  
 レヲ勅使大原へムカヒテ宣命ヲタシテ座主職ヲサツケ  
 ラルツ井ニ召出サレテ同五月二十四日寂勝講ノ證義  
 ヲツトメ同二十八日權僧正ニ拜任ス治山三箇年ノ

間内論義二箇度寂光大師ノ御廟ノ番論義傳教大師  
 御廟淨土院ノ番論義ナント取オコナハレワガ山ノ佛法ノ  
 タエタルヲツキスタシタルヲオコサレシカトモカタハラニハナ木稱  
 名ノ行業ヲコタラスシテ法華堂ノ初夜ノ行法ニハ高聲  
 念佛千遍ヲ久ハ修セラシキソノ行イニ退轉ナシ日比ノ  
 腫物ノイタハリニハカニ増氣シテ淨土院ノ番論義ノ夜建  
 久三年十一月十四日寅尅東塔圓融房ニシテ正念  
 タカハス念佛相續シ往生ノ素懷ヲトケ給キ遺言ノヒロア  
 リケレハスナハチ大原ニヲクリタテマツリ又近古ノ高僧山門  
 ノ英傑ナリシカシナカラ上人ノ訓導ニヨリテ出要ヲオモ  
 ヒ定メラレキ心アラン人タレカツノアトヲコヒ子カハサラム僧

正ツ子ニ。ノタミヒケルハ。一向專修ノ身トナリテ。顯密ノ行  
業ヲサシレキレ。ハシメハ。ヨニ心細カリシナリトソ。申サレケル  
第十五卷

第一段

慈鎮和尚号吉水僧ハ法性寺殿忠通公ノ御息青  
蓮院ノ覺快法親主鳥羽院弟七官ノ附弟山門ノ樞鍵秘教  
ノ棟梁トシテ。三昧ノ一流秘決ヲツクシ。與義ヲキハメ。山  
務四箇度。貞隆昔ニヨヘ。名望世ニスクシタマヘリ。シカレト  
モ。宿習ノ開發シ給ケルニヤ。頻リニ世間ノ榮耀ヲイトヒ。フ  
カク出離ノ要道ヲ尋子。隱遁ノ志。アサカラスシテ。ヨリヨリ  
籠居ノ暇ヲ申サレケルニ。アエテ勅許ナカリケレハ。ソノ本意

ヲトケラレスト云ヘトモ。アル時シハラク。西山ノ善峯寺ニ籠  
居シテ。心閑カニツトメ。ヲコナハレケルニ。イツシカ勅使ヒミナク  
シテ。ツ井ニ召出サレ給ニケリ。ソノ後ハ。隱居ノスマヒモ。叶ハサ  
リケレハ。ツ子ニ上人ニ御對面アリテ。底下ノ凡夫開悟得  
達ノ要義ヲ。談セラレケルニ。上人諸宗ノ大綱ヲアケテ。一  
一ノ義理ヲ。ツクサルノ。皆上代上機ノ爲ノヲレヘニシテ。  
末代下根ノタクヒヲヨビカタシ。淨土ノ宗旨稱名ノ本願ノ  
ミソ。苦海ノ船師。愛河ノ橋梁ニテ。愚鈍下智ノ當機ニア  
ヒ叶ヘルトテ。聖道淨土ノ與義ヲ。ノヘラレケレハ。和尚隨喜  
ノ御心子ニコロニシテ。一乘圓頓ノ戒ヲウケ。發心稱名ノ  
行ヲ。崇重セラレケル

第二段

本願ノ旨趣ヲトフラヒ。極樂ノ往生ヲノソミマシレケル余  
 ニヤ。建仁元年九月二十二日ヨリ。七箇日ノ間。日吉  
 聖真子ノ拜殿ニテ。實圓實全仁慶良壽已下二十余  
 人ノ門弟ヲトモナヒテ。且ハ本地彌陀ノ内證ニ資シ。且ハ  
 垂跡明神ノ外用ヲカサシメカタメニ。慈覺大師古風ヲシ  
 タヒ。西方懺法ヲソ。ヲコナハレケル。六時ノ時コトニ。高聲念  
 佛千遍マテ。トナヘ給シニ。偏執我慢ノ大衆定メテ。違亂  
 ラナスコトヤアラント。人思ヒアヘリケルニ。七箇日ノ間。ソコハ  
 クノ大衆群集スト云ヘトモ。皆歸敬ノ掌ヲ合せテ。誅謗ノ  
 クチビルヲ。ウコカサス。信心無上ノ前ニ。魔障便リヲ得サル

ニヤト。見聞ノ諸人。不思議ノ思ヲナシアハスト。云コトナカ  
 リケリ

第三段

四天王寺ノ別當ニ補任セラレシ時ハ。大僧正行慶寺務  
 ノ時。顛倒シテ後年又シクナリニ。繪堂ヲ新造シテ。漢家  
 本朝ノ往生傳ヲエラヒ。尊智法眼ニ仰セテ。九品往生人  
 ヲ。畫圖ニテラハシ。入道相國頼實以下九人ノ秀才ヲス、  
 メテ。和歌ヲ詠シテ。九品面々ノ行狀ヲ稱嘆シ。管宰相  
 干時大爲長卿ヲシテ。四韻ノ周詩ヲ賦セシメ。權木納言  
 藏卿色紙形ヲソ。清書セラレケル。所謂

上品上生

智覺禪師 新修往生傳



九品蓮臺其寂上  
詞花永馥神棲賦  
直詣西方生死斷  
炎王常拜畫圖像

コハノシカカミ十キ花ノウテナニモ。  
コロモノウラニ鳥ヤスムラン

上品中生

賢劫如來放大光  
六旬有限新泉路  
地上蓮粧生八葉  
眼前兼得佛靈告

杭州智覺獨當機  
宿鳥不驚寂定衣  
不經陰府古今稀  
蕪息高僧面見歸

入道大相國公頼實

尼善慧戒珠集

善哉善慧往西方  
三昧無人舊道場  
俗間花色耻餘香  
九品妙臺第二望

フルサトニノコル蓮ハアルレニテ  
ヤトル一夜ニ花ソヒラクル

上品下生

侍從所監藤原忠季

我朝々請大夫士  
勁節先彰同雪竹  
三年十月黄昏淚  
葛裏乘蓮西去速

ミレユメノヤトラウツニサトリキテ  
キノフノ花ニツユソヒラクル

中品上生

大原貧侶臨河畔

前攝政殿下道家

二世清祈一念深後拾遺

善根高挺属雲林  
上品下生金刹心  
客塵自是不能侵

權大納言基家

大原沙彌戒珠集

欲畫彌陀功獨遲

尊像未成沙腰颯  
夜夢縱告出離道  
中品上生今所示

夕立ニ水モマサコノカハナミヤ  
ハチスノナカノヲエノシラツユ

中品中生

天延之比無常理  
故蕊露消空暗淚  
羽林昔有雙棲鳥  
極樂界中詩上趣

浮生易滅兩來時  
老淚不堪憶子悲  
至干舊友各相思

前太政大臣公繼

少將義孝保胤 往生傳

子葉落風槐體家  
荒原煙盡只春霞  
夢路今攀一詠花  
品生所指足相加

右大將實氏

カサ九中ノ花ノヤトリニ

中品下生

昔在入間雖放逸  
鬢花落鏡罷秋鶴  
晝夜三時三品觀  
九蓮第六託生趣

ステカラテ子思フ鹿ノシルヘヨリ  
カリヤマテイトヒイテニキ

下品上生

當初法敬有遺約  
音樂聞天遷化曉

沙門智縁戒珠傳

歸真季積智縁功  
羽獵發心禮世雄  
桑榆一暮一期終  
迷盡向西結太夢

正三位家隆

釋法敬戒珠集

身後不忘靈告專  
光明入夢十二年

善哉一子出家カラ  
昔寺維那修善積

立歸ルユメノタ、キヲシヘヲク  
ウテチノ花ノスエノウハツユ

下品中生

柔鞍馬寺又棲違  
陽茂閣梨從入夢  
九生蓮位上中下  
以第八門當此品

ヲシヘ入ル道ハカスカノ里ノ月  
サトレハ春ノヒカリナリケリ

遂是雙親得道縁  
沮鼻下品上生蓮

從二位民部卿定家

覺真阿闍梨續本朝  
往生傳  
祈請炎主有所思  
西方覺葉不生疑  
萬部花文讀誦持  
來縁定談命終時

入道從三位 保季

誦ノヒニ。百首ノ歌ヲ詠シ給ケル與ニ

我々ノム。七ノ社ノユフタスキカケテモ六ノ道ニカヘスナ  
入ヲ見モ我身ヲミルモコハイカニナムアマミタツ  
トソ書付給ケル。往生ノソミ。フカクシテ。欣求ノ心ヲハケニ  
サレケルニ。稱名ノ薰修日淺ク。光陰ノ運轉時ウツリヌト  
ヤ。オホシメサレケン。或時詠シ給ケルハ

極樂ニマタ我カ心ユキツカスヒツレノ歩ミシハヒト、ニレ  
浮生ヲ輕クシ。思ヲ淨利ニカケ給フコト。ヒトヘニ。上人諷諫  
ノユヘナリケレハ。歸敬他ニコトニシテ。上人遷化ノ時ハ。哀傷  
ニタヘス。寂初ニ引接ヲ待由。中陰ノ作善ニ諷誦文ヲサハ  
ケラレ報恩謝徳ノ儀。子ニコロナリケリ。サレハ御臨終ノ後。

或人ノ夢ニ示サレケルハ。サシモ苦勞セシ。顯密誓古ハ。物ノ用ニモ立ス。時々セシ空觀ト稱名念佛ハカリツ。後世ノ資糧トハ。ナリタルトソ。仰セラレケル

第四段

月輪ノ禪閣ノ御息妙香院ノ僧正良快ハ慈鎮和尚ノ附法トシテ。太師正嫡ノ跡ヲウケ。顯密兼學ノ宗匠ナリキ。シカレトモ。宿縁ノ内ニモヨホサレケルニヤ。上人ノ勸化ニ歸シタマヒ。狀離穢土ノ思ヒフカク。欣求淨土ノ願。子ニコロナリシカハ。偏へニ彌陀ノ本願ヲ信シテ。念佛ヲ行シタマヒ。淺近念佛抄ヲ記シテ。無智ノ輩ヲ勸メラル。彼ノ序ノコトハニハ。夫以ミシハ。本覺真如ノ月。無明戲論ノ雲ニカク

下品下生

釋慧進貧無所畜。欲飛鵝眼空勞眼。百部花文今已滿。善哉下品下生位。

釋慧進新修性。檀施之物誰應侵。不憶梟心還有心。八旬榆景遂西沈。從在世間素意深。

九ノレ十子カフ蓮スノスエノ糸ヲミタサテカヘルヨルノレラナシ

正四位下 朝臣

色紙形記銘曰

貞應三年甲始自去冬三春孟夏之間以繪師法眼尊智守本樣依傳文圖繪既訖今於西面更畫作九品往生之人殊勸進一乘淨土之業表裏共不交他

筆尊智圖之以詩歌形其心。詩句九品同念。營大府  
卿爲長卿作之。和歌義相以下。廣勸九人各詠一首。  
復當南北裏同畫四天像。此堂大僧正行慶寺務之  
間。顛倒之後。以聖靈院禮堂東廂爲其所。今新建立  
于舊跡。彰興隆之本意也。

別當前大僧正法印大和尚位慈圓記之

是廣諸人ノ心ヲス、メテ欣求ノ思ヲハケマサンタメナリ。ニ  
コトニ此形狀ヲ見テ誰ノ人カ穢惡宛滿ノサカヒヲイトヒ。  
淨土不退ノ砌ヲコヒ子カハサラン。自證ノ得脫ノミニアラ  
ス。化他ノ御志。フカハリケル。アリカタク貴クモ。侍ヘルカナ。日  
吉ノ社。二百日參籠シ給テ。後生菩提ヲ祈申サレケル。念

レ常住佛性ノ蓮ス。生死妄染ノ泥ニ。ウツモレシヨリ。コノカ  
タ。或ハ燒熱大燒熱ノ炎ニ。咽ヒテ。多。百千劫塵數ノ諸  
佛ノ出世ヲモスキ。或ハ紅蓮大紅蓮ノ氷リニ。トキラレテ。無  
量億生恒沙ノ如來ノ化導ニモ。モレタリ。或ハ餓鬼城ニ入  
テ。一萬五千歲飢饉ノウレヘ。忍ヒカタク。或ハ畜生道ニ墮  
シテ。三十四億類殘害ノ苦シモ。イタハク。適人ノ中ノ生ヲ  
ウクトイヘトモ。餘州ニアリテ。佛法ヲ聞ス。マシニ天上ノ報ヲ  
感ストイヘトモ。快樂ニホコリテ。淨業ヲ修スルコトナシ。而ル  
ニ。南瞻部州佛法流布ノ國ニ。ムシテ。西方淨刹欣  
求指南ノ教ヲ得タリ。コノタヒ出離ノ直道ニ。赴スハ。イツレ  
ノ時ニカ。菩提ノ正路ニ向ヘキ。就中一生涯ノサタニリナキ

事。夢ノコトシ。幻ノコトシ。五盛陰ノ待コトアル。且トヤセシ。  
 暮トヤセシ。シカルニ。煩惱内ニ。モヨホシ。惡縁外ニヒキテ。コノ  
 コト分ニ。ヲトロク。輩誠ス。クナク。ソノ勤ヲイタス。タクヒ甚。メシナリ。頓  
 死。マタクワカキニヨラス。重病カナラスシモ。老ヲ待コトナシ。誰  
 カサタメシ今日。ソノ日ニアラストハ。争カレラン我身。ソノ類ニ  
 アラストハ。無常ノツゲ忽ニキタリ。有爲ノスガタ。ナカクカクレ  
 ヌシハ。一善ノタクハ。モナキニヨリテ。三途ノ底ニ墮シヌ。過  
 去漫々ノ流轉ス。テニカクノコトシ。未來来々ノ輪廻。又然  
 ヘシ。イソキテ出離ノ要術ヲ求ヨ。更ニ生死ノ妄報ニ著ス  
 ルコトナカシ。爰彌陀ノ念佛ハ諸教所讚多。在彌陀大  
 恩教主ステニ。コノ佛ヲ稱讚シタラ。彌陀一教利物偏

増末代ノ我等。寂カノ國ヲ欣ヘシ。誠ニ是末代相應ノ要  
 法。凡夫易行ノ直道。立者欤。ゴノユヘニ。初心行者ノタメ  
 ニ。念佛ノ簡要ヲシルレテ。分テ七段トシテモテ。九品ヲ期  
 取詮トシカ、レタル

第十六卷

第一段

高野ノ僧都明遍ハ。少納言通憲ノ子ナリ。長門ノ法印  
 敏覺カ嫡弟トシテ。三論ノ奥旨ヲキハメ。才名世ニユルサレ  
 タリシカトモ。名利ヲイトフ。コ、ロフカクシテ。本寺ノマシハリヲ  
 コノマスツ井ニ三十七ノトシ交衆ヲノカシ。公請ヲ辞シ。光  
 明山ニ。居ラシメテ。諸行ヲステス。萬善ヲイトハス。ヒロク出離

ノ要路ヲタツ子アマ子ク。顯密ノ勤行ヲイタサシケリ。時ノ人  
 明遍ハ。當時無雙ノ碩學ナリ。補任遅々ノユヘニ。籠居ス  
 ル軟ノヨレヲノヲノ。オシミアヒケレハ。生年四十五ノ時。少  
 僧都ヲ宣下セラレケレトモ。カタク辞レテ。勅喚ニシタカハス。隱  
 遁ノオモヒイヨイヨ切ニシテ。建久六年五十四歳ニテ。チカ  
 ク光明山ヲステテ。跡ヲ高野山ニカクシ。出離ノツトメ。マス  
 マス。子ニコロナリ。有智ノ道心者。チカクハ。ゴノ人ナリ

第二段

僧都上人所造ノ選擇集ヲ披覽シテ。コノ書ノオモムキ。  
 イサ、カ。偏執ナルトコロアリケリト。オモヒテ。寢ラレタル夜ノ  
 夢ニ。天主寺ノ西門ニ。病者カスモシラス。ナヤミフセルヲ。一

人聖鉢ニカユライレテ。匙ヲモチテ。病人ノ口コトニ。イル、ア  
 リケリ。誰人ニカアラントトフニ。カタハラナル人コタヘテ。法然  
 上人ナリトイフト。見テサメヌ。僧都オモハク。ワレ選擇集ヲ  
 偏執ノ文ナリト。思ツルライマレメラル。ユメナルヘシ。コノ上  
 人ハ機ヲレリ。時ヲレリタル。聖ニテオハシケリ。病人ノ様ハ。ハシ  
 メニ。柀子。橘梨子。柿ナト。タクヒヲ食スレトモ。ノキニハツレ  
 モト、マリヌレハ。ツツカニオモユヲ。モチテ。ノトヲウルホス。ハカリニ。  
 命ヲサヘタリ。ゴノ書ニ。下向ニ念佛ヲス、メラレタル。コレニタカハ  
 ス。五濁濫漫ノ世ニ。佛法ノ利益次第ニ滅ス。コノコロハ。  
 アハリニ代クタリテ。我等カアリサマ。ダトヘハ。重病ノモノ、コト  
 シ。三論法相ノ柀子。橘モクハレス。真言止觀ノ梨子。柿モ

久ハレ子ハ念佛三昧ノオモユニテ生死ヲイツヘキナリケリトテ  
 忽ニ顯密ノ諸行ヲサシテ專修念佛ノ門ニイルツノ名  
 ヲ空阿彌陀佛トシ号セラレケルトリツキ天王寺トミラシ  
 ケルモ由緒ナキニアラスコノ寺ハ極樂補處ノ觀音大士  
 聖德太子トムマレテ佛法ヲコノ國ニヒロメ給ヒ寂初ノ  
 伽藍ナリ欽明天皇ノ御タメニ七日ノ念佛ヲツトメタマ  
 ヒ命長七年二月十三日黒木ノ臣ヲ御使トシテ善  
 光寺ノ如來へ御書ヲ進セラルソノ御コトハニ名號七日  
 稱揚已以斯爲報廣大恩仰願本師彌陀尊助我濟  
 度常護念ト侍ケルニ如來ノ御返報ニハ一念佛稱揚無  
 恩留何况七日大功德我待衆生心無間汝能濟度

豈不護トソアソハサレケル御表書ニハ上宮救世大聖ノ  
 御返事ト侍ケリコノ御消息ニヨリコノ國ハ念佛三昧ノ  
 有縁ナク事モアラハレニケレガノ鳥居ノ額ニモ釋迦如來  
 轉法輪所當極樂土東門中心トシカハレテ侍ルゾカ  
 國ニ生ヲウケン人ハ尤コノ念佛門ニ歸スヘキモノナリ

第三段

上人天主寺ニオハレケルトキ僧都善光寺參詣ノ事アリ  
 ケルカタツ子參セラレテマツ使ニテ案内シ給フニ上人客殿  
 ニ出マシケテコレヘト仰ラル僧都サレイルテイマタ居ナホラ  
 ヌホトニコノタヒイカハレテ生死ヲハナシ候ヘキト申サレケレ  
 ハ南無阿彌陀佛ト唱テ往生ヲトスルニハシカストコソ存



ニ候ヘト。申サシケレハ。僧都申サル、ヤウ。タレモサハ。見ヲヨヒ  
テ侍リタ、シ念佛ノトキ。心ノ散亂シ。妄念ノオコリ候ヲハ。  
イカ、シ候ヘキト。上人ノタマハク。欲界ノ散地ニ。生ヲウクル  
モノ心アニ散亂セサラシキ。煩惱具足ノ凡夫。イカテカ。妄念  
ヲト、ムヘキ。ソノ條ハ源空モチカラヲヨヒ候ハス。心ハ千リミ  
タシ。妄念ハキホヒ。オコルトイヘトモ。口ニ名號ヲトナハハ。彌陀  
ノ願力ニ乗シテ。決定往生スヘシト。申サシケレハ。コレウケ給  
候ハシタメニ。マイリテ候ツルナリトテ。僧都ヤカテ。退出シ給  
ニケレハ。初對面ノ人。一言モ。世間ノ禮儀ノ詞ナクシテ。退  
出セラシヌルコトヨトテ。人々タウトヒアヒケリ。上人ウチヘイ  
リ給テ。心ヲシツメ。妄念オコサスシテ。念佛セントオモハシム。

マシツキノ目鼻ヲトリハナキテ。念佛セントオモハシカ如シ。アナ  
コトコトシトソ。仰ラシケル

第四卷

ソノ後ハ。僧都フカク。上人ニ歸シ。專修ノ行。ヲコタリナカリ  
ケルカ。念珠ヲハヤククリテ。數遍オホキ事ヲハ。不實ノキハマ  
リナリトテ。オホキニ不受セラシケルニ。アルトキ。修行者一人  
キタリテ。毎日ノ念佛ハ。イカホトラカ。所作トサタムヘク候ラシ  
ト。タツ子申ケルニ。御房ハ。イクラ程ヲ申サル、ソト。カヘシトハ  
レケレハ。毎日百萬遍ヲ申ヨシヲ答フルニ。例ノ不實ノモノ  
トテ。返答ニモ及ハスシテ。ウチヘイラレニケレハ。修行者モ歸ニ  
ケリ。僧都キトマトロミ給ヘル。夢ニ貴ケナル僧キタリテ。ツケ

テノ給ハク。毎日百萬遍ノ行者ヲイヒサマダケヌル事。ハナハ  
 タシカルヘカラストテ。モテノホカナル。氣色ニテワレコレ善道ヲ  
 リト。仰ラルトミテ。ヲトロキヌ。遍身ニアセナカシ。曾サハキテ。心  
 ノヲキドコロナキテ。カナシクオホエテ。時尅イタホトヲヘサリケ  
 ケレハ。カノ修行者ヲヨビカヘシテ。コノヨレヲカタリ。前非ヲク  
 井ンタメニ。人ヲ方々ニツカチツカハシテ。ハセラレ。高野中ヲ  
 タツ子サセラル。ニツ井ニユキカタヲレラスナリニケリ。僧都申  
 サシケルハ。日來ハヤクリノ數反ヲ不受スル事。佛意ニツム  
 ケルユヘニ。化人ノツケレメサシケルナリ。實ノ修行者ニハアラサ  
 リケリトテ。其後ハミツカラモ。ツ子ニ百萬反ノ數遍ヲソ。セラレ  
 ケル。僧都ノ夢想ヲモチテ。コレヲ思ニ。上人數反ヲス。メ給

ヘル事。アニ和尚ノ尊意ニカナハサラシヤ。タ、アフキテ信ヲト  
 ルヘシ。ヲロカナル心ヲモチテ。コレヲアサケル事ナカシ

第五段

僧都ヒトヘニ。上人ノ勸化ヲ仰信シ。フタ心ナカリケレ。上  
 人ノ滅後ニハ。カノ遺骨ヲ一二期ノアヒタ。頸ニカケテ。ノチニハ  
 高野ノ大將法印貞曉鎌倉相傳セラレケリ。籠山三十  
 年ノアヒタ。朝ニハ自誓戒舍利講。夕ニハ臨終ノ行儀ヲ  
 修シ。惣シテ六時ノ同音念佛。日々夜々ニヲコタル事ナ  
 シ。他ノタメニハ。人ノソミニシタカヒテ。顯密ノ法門ヲ談セラ  
 シケレトモ。自行ニハ一向稱名ノホカ。他事ヲマシヘス。長齋  
 持戒ニシテ。草庵ヲイッルコトナシ。練行トシフリテ。薰修日

アラタナリ。サテモ穢土ノ縁ツキテ。西土ノ望千カツキケルニキ。  
 貞應三年四月上旬ノコロヨリ。イサ、カ。風痲ニヲカサシ。  
 寢食例ニ違シケレハ。門弟等オノオノ結番シテ。看病ヲイ  
 タシ。念佛ノコエヤム時ナシ。病ニシツムトイヘトモ。法門ノ談  
 議日コロニカハラス。日ヲフルマ、ニ。經論ノ明文ヲ誦シテ。念  
 佛イヨイヨ強盛ナリ。ツ井二六月十六日子。尅頭北面  
 西ニシテ。念佛相續シ。禪定ニ入カコトクイキタエ給ニケリ。  
 生年八十三ナリ。ミル人隨喜ノ感涙ヲナカレキク人存  
 世ノ德行ヲシタイケル

傳繪詞卷三終

黒谷上人繪詞第四目錄

卷十七

安居院聖覺法印事

上人瘡病事

聖覺法印念佛門入事

上野國圓明房墓詣事

卷十八

選擇集簡要進覽事

同第三段彌陀如來本願事

付女人往生事

卷十九

月輪殿北政所御返狀事

阿波介事

或山僧示念佛事

尾聖如房遺御狀事



卷二十

仁和寺尼示念佛事

河内國四郎入道教阿彌陀佛示念佛安

心事

沙彌隨蓮示念佛安心事

上人三心沙汰事

遠江國作佛房示御詞事

熊野山證誠權現事

黒谷上人傳繪詞第十七卷

第一段

安居院ノ法印聖覺ハ入道少納言通憲ノ孫子。法印

大僧都澄憲ノ真弟ナリ。叡山竹林房ノ法印靜嚴ヲ

師トス。論說二道ヲカ子テ。智辨人ニエケレタリキ。レカルニ宿

習ノイタリニヤ。アリケン。深上人ノ化導ニ歸シテ。浄土往生ノ

口決ヲウケ。大和前司親盛入道御往生ノ後ハ。疑ヲタレ

ノ人ニカ。決スヘキト。上人ニトヒタテマツリケルニ。聖覺法印。ワ

カ心ヲ。レレリトノ給ヘリ。浄土ノ法門ニヲキテ。所存ヲノコサ

レサル事。レリ又ヘシ。サレハカノ法印。一巻ノ書ヲ制作シテ。ヒ

ロク念佛ヲス。ム。世間ニ流布シテ。唯信鈔ト號スルコレ也。

カノ書ニ云。罪<sup>ツミ</sup>フカクハ。イヨイヨ。極樂<sup>ゴクラク</sup>ヲ子カフヘシ。不簡<sup>フケン</sup>破戒<sup>ハカイ</sup>罪<sup>サイ</sup>根深<sup>コシ</sup>トイヘリ。善<sup>ゼン</sup>スクナクハ。ミス。彌陀<sup>ミダ</sup>ヲ念スヘシ。三念<sup>サンネン</sup>五念<sup>ゴネン</sup>佛來迎<sup>ブツライエイ</sup>トイヘリ。ムナシク。身ヲ卑下<sup>ヒゲ</sup>シ。心ヲ怯弱<sup>ケツジャク</sup>ニシテ。佛智<sup>ブツチ</sup>不思議<sup>シキ</sup>智<sup>チ</sup>ヲ。疑事<sup>ウタガハシ</sup>ナカレ。タトヘハ。人々カキ岸<sup>キシ</sup>ノシタニアリテ。ノホル事<sup>ノホルコト</sup>アタハサラシニ。千カラツヨキ人。岸ノ上ニ有テ。綱<sup>ツナ</sup>ヲオロシテ。ゴノ綱ニトリツカセテ。ワレ岸ノ上ニ引登<sup>ヒキノボ</sup>セントイハシニ。ヒク人ノ千カラヲ。ウタカヒ。綱ノヨハカラシ事<sup>コト</sup>ヲ。アヤフミテ。手ヲオサメテ。コレヲトラスハ。更ニ岸ノ上ニノホルヘカラス。偏<sup>ヒト</sup>ニソノ言<sup>コト</sup>ニシタカヒテ。掌<sup>テ</sup>ヲノヘテ。コレヲトラシニハ。即ノホル事ヲウヘシ。佛<sup>ブツ</sup>カラヲウタカヒ。願<sup>ネガヒ</sup>カラタノミサル人ハ。菩提<sup>ブツジ</sup>ノ岸<sup>キ</sup>ニノホル事<sup>コト</sup>カタク。只信心<sup>シツシン</sup>ノ手ヲノヘテ。誓願<sup>セイヤク</sup>ノ綱<sup>ツナ</sup>ヲトルヘシ。電

光朝露<sup>ミツアサツル</sup>ノ命。芭蕉<sup>バシウ</sup>泡沫<sup>ハクモ</sup>ノ身。ワツカニ。一世<sup>イツセイ</sup>ノ勲修<sup>クンシュ</sup>ヲモテ。忽<sup>トウ</sup>三五<sup>サンゴ</sup>趣<sup>ソ</sup>ノ古<sup>コ</sup>御<sup>ミ</sup>ヲ。ハナレントス。豈<sup>ア</sup>ユルク諸行<sup>シュコウ</sup>ヲ兼<sup>カキ</sup>シヤ。諸佛<sup>シュブツ</sup>菩薩<sup>ボサツ</sup>ノ結縁<sup>ケツエン</sup>ハ。隨心<sup>ズイシン</sup>供佛<sup>コウブツ</sup>ノ朝<sup>アサ</sup>ヲ。期<sup>キ</sup>スヘシ。大小<sup>ダイコウ</sup>經典<sup>キョウテン</sup>ノ義理<sup>ギリ</sup>ハ。百法<sup>ヒャクホウ</sup>明門<sup>メイモン</sup>ノ暮<sup>ク</sup>ヲ待<sup>マテ</sup>ヘシ。畧<sup>リョク</sup>抄<sup>セウ</sup>トソ侍<sup>シ</sup>ヌル。ゴノ法印<sup>ホウイン</sup>フカク。上人<sup>ジョウジン</sup>ノ勸化<sup>クワンカ</sup>ヲ。信敬<sup>シンキョウ</sup>ノアヒタ。處々<sup>トコロトコロ</sup>ニシテ。說法<sup>セツポフ</sup>ノタヒコトニハ。彌陀<sup>ミダ</sup>ノ本願<sup>ホンガン</sup>ヲ。讚嘆<sup>サンタン</sup>シ。念佛<sup>ニゴフ</sup>ノ功能<sup>クワウ</sup>ヲ。ホメ申<sup>マウシ</sup>サシケルヲ。上人<sup>ジョウジン</sup>キ、給<sup>タマフ</sup>テ。コレヒトヘニ。善導<sup>ゼンドウ</sup>ノ御方便<sup>ミホウベン</sup>機感<sup>キカン</sup>純<sup>ジュン</sup>熟<sup>ジュク</sup>ノ折節<sup>セツセツ</sup>也。然<sup>シカ</sup>ヘキ名僧<sup>ナメイ</sup>。專修<sup>センシュ</sup>念佛<sup>ニゴフ</sup>ノ義<sup>ギ</sup>ヲ信<sup>シン</sup>シテ。所々<sup>トコロトコロ</sup>ニシテ。講釋<sup>コウシツ</sup>セハ。念佛<sup>ニゴフ</sup>ノ弘通<sup>コウツウ</sup>何事<sup>ナニコト</sup>カ如<sup>ニホシ</sup>之<sup>ノ</sup>哉<sup>ヤ</sup>。悦<sup>エツ</sup>仰<sup>オウ</sup>ラレテ。法印<sup>ホウイン</sup>ノモトヘ。申<sup>マウシ</sup>ツカハサレケルハ。法華<sup>ホウワ</sup>經<sup>キョウ</sup>ノ中<sup>ナカ</sup>ニハ。定<sup>テイ</sup>マリテ。阿彌陀<sup>アミダ</sup>經<sup>キョウ</sup>ヲ制<sup>セイ</sup>供養<sup>コウヤウ</sup>セラル。ナレハ。イカナル所<sup>トコロ</sup>ニテモ。機嫌<sup>キケン</sup>

サマテ。アレカラサラン所ニテハ。阿彌陀經ニツキテ。四十八願ノ様ヲ釋シノヘラレ候ヘキヨレ。久シク授ラレケルトナシ

第二段

元久二年八月ニ。上人瘡病ギョクヲワツラヒ給事アリケリ。月輪殿キコレメシ。オトロキテ。醫師ヲメサシ。種々ノ療方ヲツクサルトイヘトモ。治術ヂジュツカナハサリレカハトリワキ。冥助メイジュヲ。アツカシ。御祈請キサイアラシタメニ。度摩ドマノ法眼ホウガン澄負テイフニオホセテ。善導和尚ノ真影ヲ。圖繪セラレ。後京極殿キョウキョクソノ銘メイヲカセ給テ。安居院ノ法印聖覺トキトク僧都トキトクニ御導師參懃スヘキヨシ。仰ラレ。ルニ。法印申ケルハ。聖覺モ瘡病ノ事候カ。明日ハ。オコリ日ニテ候ヘトモ。貴命ノガレカタキヲ。師範シバンノ恩ヲ報セシタメニ。參

懃スヘク候。タハシ。早且サヤキニ御佛事ヲハシメラルヘシトテ。翌日拂曉ヒツキニ。小松殿コマツヘ參シテ。辰時タチヨリ說法ヲハシメテ。未尅ミツクニ結願ケツガンス。ソノ說法ノ大座オホザハ。大師釋尊オホシナラ衆生ニ同シ給トキハ。ツ子ツコニ病惱ヤマトヲウケ。療治リョウヂヲモチ井タニフ。イハシヤ。凡夫血肉ノ身。イカテカ。ソノ愁ウレシナカラシ。シカレトモ。淺智愚鈍センチウノ衆生ハ。コノコトハリラシラス。サタメテ。疑心ギシンヲナサンカ。上人化導ケダウスニ。佛意ニカナフユヘニ。マノアタリ。往生シヤウジヤウヲトクルモノ。ソノカスヲシラス。シカレハ。諸佛菩薩諸夫龍神リョウジンイカテカ。衆生ノ不信ヲナケカサラン。四天大王シヤウテン。佛法ホツポフヲ。モリ給ハ。カナラス。ワカ木師上人ノ病惱ヤマトヲ。イヤシ給ヘト。子ニコロニ。申ノヘ給ケレハ。善導ノ御影ノ御前ニ。異香イコウシキリニ薰カウシ。上人モ聖覺モ。トモ

二。瘡病オチニケリ。聖覺自嘆シテ。先師法印ハ。炎旱ノ御祈  
禱ニ。大内ニシテ。唱道ヲツトメ。當座ニ兩ヲラレテ。名譽ヲ  
ホトコレキ。聖覺カ身ニハ。コノ事第一ノ高名ナリト申サ  
レケル。マコトニ。末代ノ奇特。ソノコロノ口遊ニテソアリケル

第三段

法印ヒトヘニ。上人ノ勸化ヲ信伏シテ。念佛往生ノ口傳  
相兼。ソノカクテ。名譽アリシカハ。兼又三年ノコロ。但馬  
宮親王。念佛往生ニ。條々ノ不審ヲタテ。時ノ名譽アル  
先達ニ。御尋アリケリ。コノ法印。ソノ專一ナリ。カノ請文ニ云。  
御念佛ノアヒタ。御用心ハ。一切ノ功德善根ノナカニ。念  
佛取上ニ候。十惡五逆ナリトイヘトモ。罪障マタク。ソノ障

トナラス。一稱一念ノチカラ。決定シテ。往生セシムヘキヨシ。  
眞實堅固ニ。御信受候ヘキナリ。聊モ猶豫ノ儀。ユメユメ候  
ヘカラス。或ハ身ノ懈怠不淨。ハカリ。或ハ心ノ散亂妄念  
ニ。オソレテ。往生極樂ニ。不定ノオモヒヲナスハ。極タルヒカ事  
ニテ候。佛意ニソムクヘク候ナリ。日々ノ御所作更ニ不淨  
ヲ憚思食ヘカラス候。念佛ノ本意ハ。タ、常念ヲ要トシ候。  
行住座卧時。處諸緣ヲ簡ハス候。但シ毎月一日ナハ。誠  
御精進。潔齊ニテ。御念佛候ヘキ也。ソノ外。日々ノ御所  
作ハ。タ、御手水ハカリニテ候ヘキ也。取詮。又嘉祿二年ノ  
コロ。後鳥羽院遠所ノ御所ヨリ。西林院ノ僧正。兼圓ニ。  
仰下サレケル御書ニモ。散心念佛ノ事。一定出離シヌヘ

御傳卷四  
ク候ハンヤウ。明禪聖覺ナトニクハシク尋サクリテ。寂上ノ至  
要ヲレルシ。申サルヘキヨシ。仰下サレケレハ。法印コミカニ。シ  
ル申サレケルトナシ

第四段

上人ノ第三年ノ御忌ニアタリテ。御追善ノタメニ。建保二  
年正月ニ。真如堂ニシテ。七箇日ノアヒタ。道俗ヲアツメテ。  
融通念佛ヲス。メラレケルニ。往生ノ要樞安心起行ノ  
ヤウ。上人勸化ノム子。ゴマコトノヘタマヒテ。コレモシ。我大師  
法然上人ノ仰ラシヌコトヲ申サハ。當寺ノ本尊御照罰  
候ヘト。誓言再三ニ及テ。ノキモシテ。不審アラシ人ハ。鎮西  
ノ聖光房ニ。タツ子トハルヘシト申サレケレハ。聽衆ノナカニ。一

人ノ隱遁ノ僧アリケルカ。草菴ニカヘラスシテ。スニ。筑後國  
ニタタリテ。聖光房ニ謁シ。法流ツツタヘ門弟トナリ。九州弘  
通ノ法將トソナリニケル。敬蓮社トイヘルコレナリ。法印追  
福ノ心。サシアラハレテ。諸人ノ隨喜ハナハタシクソ。アリケル

第五段

カノ法印。一山ノ明匠四海ノ導師トシテ。公家ノ勅喚諸  
亭ノ招請ヒマナカリシカトモ。西土往生ノ心サシフカク。稱  
名念佛ノ行。ヲコタリナクシテ。ツ井ニ。文曆二年三月五日  
生年六十九ニシテ。端坐合掌シ。念佛數百返ヲトナヘ。  
往生ノ素懷ヲトケラレケル。マコトニカシコク。タウトツ侍ル

第六段



カマツケル  
上野國ノ國府ニ。明圓トイフ僧侍リキ。遊行聖リノ念佛  
申テトホリケルヲ。トメヲキテ。道場ヲカマヘ。念佛ヲ具行シケ  
ル程ニ。或夜ノユメニ。貴僧キタリテ告テ云。念佛申モノハ。カ  
ナラス極樂ニ往生スル也。敢テ疑事ナカシ。末代惡世ノ衆  
生ノ出離解脫ノ道。念佛ニスキタルハナシ。我ハ吾朝ノ太  
導師聖覺トイフモノ也。法然上人ノ教ニヨリテ。彌陀ノ本  
願ヲ信シ。念佛ヲ行シテ。極樂ニ往生シタル也トテ。一期ノ  
行狀。往生ノ次第。コマカニ。カタリ給テ。イモコノ道場ノ念佛  
ニ。結縁セシカタメニ。常ニコノ道場ニアルナリ。但シ十一月二  
ハ。本所ニ法談ノ事アルニヨリテ。結縁ノタメニ。必本所ニカヘ  
ルヘシ。法談以後ハ。又コノトコロニカヘリテ。念佛ニ結縁スヘ

キ也トノ給ヘリ。夢サメテ後。不思議ノ思ヲナシ。聖覺トイヘ  
ル人ハ。イツシノ所ノ人ソ。吾朝ノ大導師トハ。何事ソト。タツ又  
ルニ。シリタリトイフモノ。ナカリケレハ。明圓鎌倉ヘノホリテ。日  
光ノ別當僧正ノ房ニイタリテ。尋申ニ。聖覺法印トイヘルハ。  
京都ノ安居院トイフ所ニ侍リキ。天下ノ大導師ノ名譽  
ノ能説ナリシカハ。シラヌ人ハナシト。仰ラシケレハ。ヤカテ上  
洛シテ。安居院ノ舊跡ヲタツ子。嫡弟憲實法印ニ。夢ノ次  
第ヲカタルニ。在世ノ行狀トイヒ。往生ノ次第トイヒ。一事ト  
シテ。違スル事ナシ。就中十一月一日ヨリ。天台大師講ヲ  
始行シテ。廿四日マテハ。毎日ノ講經終日ノ論談也。シカ  
ルニ。十一月二ハ。本所ニ法談アリ。結縁ノタメニ。必本所ニ

歸へキヨシ。示サル、事。コノ講演ノ砌ニ、影向ノ段疑ナレト  
 テ。憲實法印威涙ヲシ。ナカサレケル。明圓ハ聖覺法印ノ墳  
 墓ニマウテ、夢ノ中ノ勸化ヲヨロコヒ。勸喜ノ涙ヲナカシ。  
 二心ナキ。專修ノ行者ニナリケレハ。本國ニカヘリテハ。自行  
 化他ノツトメ。念佛ノ外。他事ナカリケリ。其後ハ。安居院ノ  
 墓詣トナツケテ。毎年ニ上洛シテ。カノ墳墓ヘソマシテケル。一  
 期ノアヒタ。念佛ヲコタル事ナクシテ。瑞相アラハシ。端坐合  
 掌シテ。數百遍ノ念佛ヲトナヘ。殊勝ノ往生ヲ遂ニケリ。子  
 息明心幼稚ノ程ハ。明圓カ後家ノ尼。年コトニ。安居院ノ墓  
 詣ヲシケル。明心成人ノ後ハ。年コトニ。明心上洛シケリ。明心又兼  
 日ニ。往生ノ時日ヲサシテ。イスニホリテ。念佛數百返ヲト

ナヘ。端坐合掌シテ。往生ノ素懷ヲ。遂ニケレハ。其後ハ。明心  
 カ子息明觀。毎年上洛シテ。墓詣ヲシケル。ゴノ念佛衆ハ。  
 聖覺ノ舊跡ヲ。念佛ノ本所ト仰崇シケルニヨリテ。或年明  
 觀上洛ノ時。憲實法印ノ嫡弟憲基法印ニ。ソノミ申様。コ  
 ノ念佛盡未來際退轉スヘカラサルヨシ。僧衆ノ中ニ御下知  
 ヲ下サルヘキヨシ。申ケルニヨリテ。彌陀本願ノ念佛ハ。濁世末  
 代ノ出離解脱ノ要法ナルイハシ。盡未來際退轉スヘカ  
 ラサルヨシ。懇懃ニ書下サレケレハ。御下知ノ旨ニマカセテ。ヒトヘ  
 三本願ヲアフキ。念佛退轉アルマシキヨシ。僧衆等請文ヲサ  
 ンケ。念佛イヨイヨ子ニコロナリケレハ。國中ノ貴賤歸敬ノ掌  
 ヲアハセ。結縁ノオモヒフカシ。天竺震且我朝三國ノアヒタニ。

多ク人師念佛ノ勸化ヲイタストイヘトモ。未夢ノ中ノ勸化ヲキカス。コノ法印ノ勸化ゴトニメツラレク貴モ侍カナ  
第十八卷

第一段

上人製作ノ選擇集八月輪殿ノ仰ニヨリテ。エラヒ進セラ  
ルハトコロ也。ケダレ念佛往生ノ龜鏡タリ。ソノ簡要少ク  
シルシ侍ヘシカノ集ノ第一段云。道緯禪師聖道淨土ノ  
二門ヲタテ。聖道門ヲステ。淨土ニ歸スル文問云。一切  
衆生皆佛性アリ。遠劫ヨリコノカタオホクノ佛ニアラヘシナ  
ニ。ヨリテカ。イマニイタルマテ。ナラミツカラ。生死ニ輪迴シテ。火  
宅ヲ出サルヤト。答云。二種ノ勝法ヲエテ。生死ヲハラハサルニヨ

リテ。コノヲモキテ。火宅ヲイテス。ナニモノヲカ。ニツスル。一ニハ  
ハク。聖道。二ニハイハク。淨土ナリ。ソノ聖道ノ一種ハイマノ時  
ニ證シカタシ。一ニハ太聖ヲサルコト。遙遠ナルニヨル。二ニハ理  
フカクサトリ微ナルニヨル。コノ故ニ。太集月藏經云。ソカ未  
法ノ時ノ中ノ億々ノ衆生行ヲオコシ。道ヲ修ストモ。イマタ  
一人トシテ。ラルモノアラシ。當今ハ。末法濁惡世ナリ。タ、淨  
土ノ一門ノミアリテ。通入スヘキミチナリ。コノ故ニ。太經云。  
モシ衆生アリテ。タトヒ。一生惡ヲツクルトモ。命終ノ時ニ。ソ  
ミテ。十念相續シテ。ワカ名字ヲ稱セシニ。若ムレハ。正覺  
ヲトラシ。又一切衆生スヘテ。ミツカラハカラス。モシ太乘ニヨラ  
ハ。真如實相第一義空。カツテイマタ。心ニヲカス。モシ小乘ヲ

論<sup>ロ</sup>世<sup>セ</sup>八<sup>ハ</sup>見<sup>ミ</sup>諦<sup>テ</sup>修<sup>シ</sup>道<sup>ニ</sup>修<sup>メ</sup>入<sup>リ</sup>。乃至<sup>ナ</sup>那<sup>ナ</sup>含<sup>ン</sup>羅<sup>ラ</sup>漢<sup>カ</sup>五<sup>カ</sup>下<sup>カ</sup>ヲ<sup>シ</sup>断<sup>ス</sup>。五<sup>カ</sup>上<sup>カ</sup>ヲ<sup>シ</sup>ノ<sup>ク</sup>コト。道<sup>ノ</sup>俗<sup>ヲ</sup>ト<sup>フ</sup>事<sup>ナ</sup>ク<sup>イ</sup>マ<sup>タ</sup>其<sup>ノ</sup>分<sup>ア</sup>ラ<sup>ス</sup>。タ<sup>ト</sup>ヒ。人<sup>ノ</sup>天<sup>ノ</sup>果<sup>報</sup>ア<sup>レ</sup>ト<sup>モ</sup>。ミ<sup>ナ</sup>五<sup>カ</sup>戒<sup>十</sup>善<sup>ノ</sup>タ<sup>メ</sup>ニ<sup>ヨ</sup>ク<sup>コ</sup>ノ<sup>報</sup>ヲ<sup>ニ</sup>子<sup>ク</sup>。然<sup>ニ</sup>タ<sup>モ</sup>チ<sup>ウ</sup>ル<sup>モ</sup>ノ<sup>ハ</sup>。ハ<sup>ハ</sup>タ<sup>マ</sup>シ<sup>ナ</sup>リ。モ<sup>レ</sup>起<sup>キ</sup>惡<sup>ヲ</sup>造<sup>ラ</sup>罪<sup>ヲ</sup>論<sup>ス</sup>。世<sup>ハ</sup>。ナ<sup>ン</sup>ソ<sup>ノ</sup>暴<sup>風</sup>駛<sup>雨</sup>ニ<sup>コ</sup>ト<sup>ナ</sup>ラ<sup>シ</sup>コ<sup>ノ</sup>ヲ<sup>モ</sup>テ。諸<sup>佛</sup>ノ<sup>大</sup>慈<sup>ス</sup>ス<sup>メ</sup>テ。淨<sup>土</sup>ニ<sup>歸</sup>セ<sup>シ</sup>メ<sup>給</sup>フ。タ<sup>ト</sup>ヒ。一<sup>ノ</sup>形<sup>惡</sup>ヲ<sup>ツ</sup>ク<sup>ル</sup>ト<sup>モ</sup>。タ<sup>ハ</sup>ヨ<sup>ク</sup>意<sup>ヲ</sup>カ<sup>ケ</sup>テ。專<sup>精</sup>ニ<sup>ツ</sup>子<sup>ニ</sup>ヨ<sup>ク</sup>念<sup>佛</sup>ス<sup>レ</sup>ハ。一<sup>切</sup>ノ<sup>諸</sup>障<sup>自</sup>然<sup>ニ</sup>消<sup>除</sup>シ<sup>テ</sup>。サ<sup>タ</sup>メ<sup>テ</sup>。往<sup>生</sup>ス<sup>ル</sup>事<sup>ヲ</sup>ヤ。何<sup>ソ</sup>ノ<sup>思</sup>量<sup>セ</sup>ス<sup>レ</sup>テ。ス<sup>ヘ</sup>テ<sup>去</sup>心<sup>ナ</sup>キ<sup>ヤ</sup>。私<sup>ニ</sup>云<sup>フ</sup>。淨<sup>土</sup>ニ<sup>宗</sup>ノ<sup>學</sup>者<sup>マ</sup>ツ<sup>ス</sup>ヘ<sup>カ</sup>ラ<sup>ク</sup>。此<sup>ノ</sup>旨<sup>ヲ</sup>レ<sup>ル</sup>ヘ<sup>シ</sup>。タ<sup>ト</sup>ヒ<sup>サ</sup>キ<sup>ヨ</sup>リ。聖<sup>道</sup>門<sup>ヲ</sup>。學<sup>セ</sup>ル<sup>人</sup>ナ<sup>リ</sup>ト<sup>イ</sup>フ<sup>ト</sup>モ。淨<sup>土</sup>門<sup>ニ</sup>ヲ<sup>キ</sup>テ。ソ<sup>ノ</sup>心<sup>サ</sup>レ<sup>ア</sup>ラ<sup>ン</sup>モ<sup>ノ</sup>ハ<sup>ス</sup>ヘ<sup>カ</sup>ラ<sup>ク</sup>。聖<sup>道</sup>ヲ

ステ。淨<sup>土</sup>ニ<sup>歸</sup>ス<sup>ヘ</sup>シ。例<sup>セ</sup>ハ。カ<sup>ノ</sup>曇<sup>鸞</sup>法<sup>師</sup>ハ。四<sup>論</sup>ノ<sup>講</sup>說<sup>ヲ</sup>ステ。一<sup>ノ</sup>向<sup>ニ</sup>淨<sup>土</sup>ニ<sup>歸</sup>シ。道<sup>綽</sup>禪<sup>師</sup>ハ。涅槃<sup>ノ</sup>廣<sup>業</sup>ヲ<sup>サ</sup>レ<sup>テ</sup>キ<sup>テ</sup>。ヒ<sup>ト</sup>ヘ<sup>ニ</sup>。西<sup>方</sup>ノ<sup>行</sup>ヲ<sup>ヒ</sup>ロ<sup>メ</sup>シ<sup>カ</sup>コ<sup>ト</sup>シ。上<sup>古</sup>ノ<sup>賢</sup>哲<sup>ナ</sup>ヲ<sup>モ</sup>ツ<sup>テ</sup>。カ<sup>ク</sup>ノ<sup>コ</sup>ト<sup>シ</sup>。末<sup>代</sup>ノ<sup>愚</sup>魯<sup>ム</sup>シ<sup>ロ</sup>。コ<sup>レ</sup>ニ<sup>シ</sup>タ<sup>カ</sup>ハ<sup>サ</sup>ラ<sup>ン</sup>ヤ。同<sup>第</sup>二<sup>段</sup>云<sup>フ</sup>。彌<sup>陀</sup>如<sup>來</sup>餘<sup>行</sup>ヲ<sup>モ</sup>テ。往<sup>生</sup>ノ<sup>本</sup>願<sup>ト</sup>セ<sup>ス</sup>。タ<sup>ハ</sup>。念<sup>佛</sup>ヲ<sup>モ</sup>テ。往<sup>生</sup>ノ<sup>本</sup>願<sup>ト</sup>ス<sup>ル</sup>文<sup>ト</sup>イ<sup>ヒ</sup>テ。無<sup>量</sup>壽<sup>經</sup>上<sup>卷</sup>本<sup>願</sup>ノ<sup>文</sup>以<sup>下</sup>ヲ<sup>ヒ</sup>ケ<sup>リ</sup>。私<sup>ニ</sup>云<sup>フ</sup>。問<sup>ク</sup>云<sup>フ</sup>。ア<sup>マ</sup>子<sup>ク</sup>諸<sup>願</sup>ニ<sup>約</sup>シ<sup>テ</sup>。產<sup>惡</sup>ヲ<sup>エ</sup>ラ<sup>ヒ</sup>ス<sup>テ</sup>。善<sup>妙</sup>ヲ<sup>エ</sup>ラ<sup>ヒ</sup>ト<sup>ル</sup>事<sup>ソ</sup>ノ<sup>理</sup>レ<sup>カル</sup>ヘ<sup>シ</sup>。ナ<sup>ン</sup>ノ<sup>ユ</sup>ヘ<sup>ソ</sup>。第<sup>十</sup>八<sup>ノ</sup>願<sup>ニ</sup>。一<sup>切</sup>ノ<sup>諸</sup>行<sup>ヲ</sup>エ<sup>ラ</sup>ヒ<sup>ス</sup>テ。タ<sup>ハ</sup>。ヒ<sup>ト</sup>ヘ<sup>ニ</sup>。念<sup>佛</sup>ノ<sup>一</sup>行<sup>ヲ</sup>エ<sup>ラ</sup>ヒ<sup>ト</sup>リ<sup>テ</sup>。往<sup>生</sup>ノ<sup>本</sup>願<sup>ト</sup>

スルヤ。答云。聖意ハカリカタシ。ダヤスク解スルニアタハス。シカリ  
トイヘトモイマコ、ロミニ。二ツノ義ヲモテコレヲ解セシ。一ニハ勝  
劣ノ義。二ニハ難易ノ義也。初ニ勝劣トイフハ。念佛ハスクシ。  
餘行ハ劣ナリ。ユヘイカントナレハ。名號ハコレ。萬徳ノ歸スル  
所也。シカシハスナハチ。彌陀一佛ノアラユル。四智三身十力  
四無畏等ノ。一切ノ内證ノ功德相好光明說法利生  
等ノ一切ノ外用ノ功德。ミナコトコトク。阿彌陀佛ノ名號  
ノ中ニ攝在セリ。カルカユヘニ。名號ノ功德モトモスクシタリト  
ス。餘行ハレカラス。ヲノヲノ。一隅ヲマモル。コ、ヲモテ。劣トス。タト  
ヘハ。世間ノ屋舎ノコトレ。ソノ屋舎ノ名字ノ中ニハ。棟梁  
椽柱等ノ一切ノ家具ヲ攝ス。棟梁等ノ一々ノ名字ノ

中ニハ一切ヲ攝スルコト。アタハス。コレヲモテシリヌヘシ。シカシハ  
スナハチ。名號ノ功德ハ。餘ノ一切ノ功德ニスクシキ。故ヘ  
ニ劣ラステ。勝ヲトリテモテ。本願トスル。次ニ難易ノ義ト  
イフハ。念佛ハ修レヤス。諸行ハ修レカタシ。擧カルカユヘニ  
シリヌ。念佛ハヤスキカユヘニ。一切ニ通ス。諸行ハカタキカユヘ  
ニ。諸機ニ通セス。然則。一切衆生ヲシテ。平等ニ往生セシ  
メンカクメニ。難ラステ。易ヲトリテ。本願トスルカ。若シ造  
像起塔ヲモテ。本願トセハ。貧窮困乏ノタクヒハ。サタメテ往  
生ノソミヲタ、ン。シカルニ。富貴ノモノハスクナク。貧賤ノモノ  
ハ。ナハタオホシ。モシ智慧高才ヲモテ。本願トセハ。愚鈍下智  
ノモノハ。定テ往生ノ望ヲタ、ン。シカルニ。智慧ノモノハ。スクナ

ク鈍ノモノハハナハタオホシ。多聞多見ヲモテ。本願トセハ。少聞少見ノ輩サタメテ。往生ノ望ヲタシシカルヲ多聞ノモノハスクナク。少聞ノモノハハナハタオホシモシ持戒持律ヲモテ。本願トセハ。破戒無戒ノ人サタメテ。往生ノソミヲタシシカルヲ持戒ノモノハスクナク。破戒ノモノハ甚多シ。自餘ノ諸行コレニ准シテシルヘシ。マサニシルヘシ。上ノ諸行等ヲモテ。本願トセハ。往生ヲウルモノハスクナク。往生セサルモノハオホカラン。然則彌陀如來法藏比丘立ノムカシ。平等ノ慈悲ニモヨホサシテ。アミ子ク一切ヲ攝センカタメニ。造像起塔等ノ諸行ヲモテ。往生ノ本願トセハ。タ、稱名念佛ノ一行ヲモテ。ソノ本願トスルナリ。乃問曰。一切ノ菩薩ソノ願ヲタツトイヘ

トモアルヒハステニ。成就セルモアリ。又イマタ成就セサルモアリ。イフカシ。法藏菩薩ノ四十八願ハステニ成就セリトヤセン。ハタマタ成就セストヤセン。答曰。法藏ノ誓願ハ。一々ニ成就シ給ヘリ。イカトナレハ。極樂界ノ中ニステニ三惡趣ナシ。マサニシルヘシ。コレスハチ。無ニ三惡趣ノ願ヲ成就シ給ヘルナリ。ナニヲモテカシルコトヲウルトナラハ。スナハチ願成就ノ文ニ。又地獄餓鬼畜生諸難ノ趣ナシトイヘルコレナリ。又彼國ノ人天命ヲハリテノチ。三惡趣ニカヘルコトナシ。マサニシルヘシ。コレスナハチ。不更惡趣ノ願ヲ成就セルナリ。何ヲモテカシルコトヲウルトナラハ。スナハチ願成就ノ文ニ。又彼菩薩乃至成佛ニ。惡趣ニカハラストイハル是ナリ。又極樂ノ人夫スニ。又トシテ。三

二相ヲ具セサル者アルコトナシ。正ニシルハ。是則具三十二相  
願ヲ成就セルナリ。何ヲモツテシルコトヲウルナク。則願成就ノ文  
ニ彼國ニムマルモノ。ミナコトコトク。三十二相ヲ具足ストイ  
ヘル是ナリ。カクノコトクハ。無上ニ惡趣ノ願ヨリ。ヲハリ得<sup>ル</sup>ニ  
法忍ノ願ニイタルマテ。一々<sup>サ</sup>誓願<sup>シ</sup>ニテモテ。成就シ給<sup>ル</sup>。第十八  
ノ念佛往生ノ願。アニヒトリモテ。成就セサラシヤ。然則念佛  
ノ人ミナモテ。往生ス。何ヲモテカ。シルコトヲウルトナラハ。スナハキ。  
念佛往生ノ願成就ノ文ニ。諸<sup>レ</sup>衆生アリテ。其名号ヲキ、  
テ。信心<sup>シ</sup>觀喜<sup>シ</sup>。乃至一念<sup>ニ</sup>至心<sup>ニ</sup>迴向<sup>シ</sup>テ。彼國ニム<sup>ル</sup>レ<sup>ン</sup>ト  
願<sup>ス</sup>ハ。則往生ス<sup>ル</sup>コトヲ得<sup>テ</sup>。不退轉<sup>ニ</sup>住<sup>ス</sup>イ<sup>ハ</sup>是也。ヨソノ四  
十八願ヲ以テ。淨土ヲ莊嚴セリ。華池宝閣願力ニアラストイ

フコトナシ。ナシ<sup>ク</sup>其中ニライテ。獨念佛往生ノ願ヲ疑惑ス<sup>ヘ</sup>キ  
ヤ。シカノミナラス。一々ノ願ノヲハリニ。モシレカラスハ。正覺ヲトラレ  
トイヘリ。シカルニ。阿耨陀佛成佛<sup>シ</sup>テヨリコノカタ。今ニシキテ十  
劫也。成佛ノキカヒス<sup>テ</sup>ニモテ。成就シ給<sup>ル</sup>。正ニシルハ。一々ノ  
願<sup>ハ</sup>ナシ<sup>ク</sup>設クヘカラス。故ニ善導ノ給<sup>ク</sup>。彼佛今<sup>ニ</sup>現<sup>ニ</sup>世<sup>ニ</sup>マシ  
ル<sup>テ</sup>。成佛<sup>シ</sup>給<sup>ル</sup>。正ニシルハ。本誓<sup>ハ</sup>重願<sup>ナリ</sup>。今<sup>ニ</sup>シカラス<sup>ト</sup>イ  
フコト。衆生稱念ス<sup>レ</sup>ハ。必ス往生<sup>ス</sup>ラウ<sup>ベ</sup>シ<sup>レ</sup>速<sup>ニ</sup>。生死ヲハナシ  
シトオモハ。二種ノ勝法ノ中ニ。シハラク聖道門ヲサシテ。キテ  
エラヒテ。淨土門ニイ<sup>レ</sup>。淨土門ニイラシトオモハ。正雜<sup>ニ</sup>一行<sup>ス</sup>  
ノ中ニ。シハラク。モロモロノ雜行ヲナケステ。エラヒテ。平行<sup>ニ</sup>歸<sup>キ</sup>  
ス<sup>ヘ</sup>シ。平行ヲ修セントオモハ。正助<sup>ニ</sup>業<sup>ノ</sup>中ニ。ナラ<sup>シ</sup>助業

ヲ傍ニシテエラヒテ正定ヲモハラニスヘシ。正定ノ業トイフハス  
 ナハ千コシ佛ノ御名ヲ稱スル也。各ヲ稱スレハカナラス。ハマル  
 ルコトヲラ。佛ノ本願ニヨルコヘニト。シツカニオモンミレハ善導  
 ノ觀經ノ疏是西方ノ指南行者ノ目足也。シカレハスナハチ  
 西方ノ行人カナラス。スヘカラク。珍敬スヘシ。就中ニ毎夜ノ  
 夢ノ中ニ僧アリテ玄義ヲ指授セリ。僧トイフハオソラクハコ  
 シ。彌陀ノ應現ナリ。シカラハイフヘシ。ゴノ疏ハ彌陀ノ傳説ナ  
 リト。イカニイハシヤ。大唐相傳シテイハク。善導ハコレ彌陀ノ  
 化身ナリト。シカラハイフヘシ。ゴノ文ハコレ彌陀ノ直説ナリト。  
 ステニツサントオモハンモノハ專ラ經法ノコトクセヨトイヘリ。  
 コノコトハゴトトカカクアフキテ。本地ヲタツヌレハ。四十八願

ノ法王ナリ。十劫正覺ノトナヘ。念佛ニタノミアリ。フシテ棄  
 迹ヲトフラヘハ。專修念佛ノ導師ナリ。三昧正受ノコトハ  
 往生ニウタカヒナレ。本迹コトナリトイヘトモ。化導コレ一ツナ  
 リ。ゴ、ニ貧道ムカレ。ゴノ典ヲ披閱シテ。粗素意ヲサトレリ。タ  
 チトコロニ。餘行ヲトメテ。ゴ、ニ念佛ニ歸ス。ソレヨリコノカタ。  
 今日ニイタルマテ。自行化他。タ、念佛ヲコトハス。然間マレ  
 ニ。津ヲトフモノニハ。レメスニ西方ノ通津ヲモテレ。タマタマ行ヲ  
 タツヌルモノニハ。念佛ノ別行ヲモテス。コレヲ信スルモノハオホ  
 ク。信セサルモノハスクナレ。已上。念佛ヲ事トシ。往生ヲコヒ子  
 カハン人。アニコノ書ヲイルカセニスヘケンヤ

第二段



同、製作ノ往生大要鈔ニ云。至誠心トイフハ。眞實ノ心ナ  
 リ。ソノ眞實トイフハ。身ニフルマヒ。嗔ニイヒ。心ニオモハンコト。  
 ミナ人目ヲカサル事ナク。誠ヲアラスナリ。シカルヲ。人ツ子ニ勇  
 猛強盛ノ心ヲオコスヲ。至誠心ト申ハ。コノ釋ノ心ニ六タカフ  
 ナリ。又云。ヨハキ三心具足シタラン人ハ。タラ井コソサガラシズ  
 シ。ナラ往生ハ。ツタカフヘカラサルナリ。又云。外相ノ善惡ヲハ  
 カヘリミス。世間ノ謗譽ヲハ。ウキマヘス。内心ニ穢土ヲイトヒ。  
 浄土ヲモ子カヒ。惡ヲモトメ。善ヲモ修シテ。マヤカニ佛ノ意  
 ニカナハン事ヲ思フ。眞實トハ申也。又云。カヤヲニ申セハ。ヒト  
 ヘニゴノヨノ人目ハ。イカニモアリナントテ。人ノソレリヲモ。カヘリ  
 ミス。ホカヲカサヲ子ハトテ。心ノマ、ニフルマフカヨキト。申ニテハ

ナキナリ。ハウニマカセテフルマヘハ。放逸トテ。ワロキ事ニテアルナ  
 リ。時ニソクニタル機嫌戒ノタメハカリニ。イサハ。カ人メヲツム  
 カタハワサトモ。サコソアルヘケレ。又云。機嫌戒ト名テ。ヤカテ虚  
 假ニナル事モアリ又ヘシ。コレヲカマヘテ。ヨクヨク。コ、ロエワクヘシ。  
 又云。コノ義ヲ心エワカヌ人ニ。ソアラヌレ。佛ノ本願ヲハ。ウタ  
 カハ子トモ。我心ノワルケレハ。往生カナハシト申アヒタルカ。ヤカ  
 テ本願ヲウタカフニテ侍也。サヤウニ申タチナハイカ程ニテモ。  
 佛ノ本願ニカナフヘシトカ。レリ侍ヘキ。ソレヲウキマヘサラシニ  
 トリテハ。心ノワルサハ。ツキセヌ事ニテコソアラシスレハ。イ、ハ。往  
 生シテント。思タツ世ハアルマシ。佛ノ御カヲハイカ程トシル。コ  
 レニスキテ。佛ノ願ヲウタカフコトハ。イカ、アルヘキ。又云。タ、ハ。心

ノ善惡ヲモカヘリミス。ツミニノ輕重ヲモワキマヘス。心ニ往生  
セント思テ。クチニ南無阿彌陀佛トトナヘハ。ゴエニツキテ。決  
定往生ノ思ヲナスヘシ。ソノ決定心ニヨリテ。スナハチ往生ノ  
業ハサタミルナリ。又云。カク心エヌレハヤスキナリ。往生ハ不定  
ニ思ヘハ。ヤカテ不定ニナリ。定ト思ヘハヤカテ。一定スル事也。  
又云。深信トイフハ。佛ノ本願ハイカナル罪人ヲモステス。タ  
名号ヲトナフル一聲ニテニ。決定シテ。往生スト。フカクタノミ  
テ。スコシ。ウタカヒモナキヲ申ナリ。又云。ツミツルヲモステ給ハ子ハ。  
心ニマカセテ。ツクランモ。クルシカルニシ。一念ニモ往生スナレハ。  
念佛ハオホク申サストモアリナント。アシク心ウル人ノイテキ  
テ。ツミヲハユルシ。念佛ヲハセイスルヤウニ申ナスカ。返々モアサ

レシ候ナリ。アクヲス、メ。善ヲト、ムル佛法ハイカ、アルヘキ

第三段

上人。大經ヲ釋シ給トキ。四十八願ノ中ノ第三十五ノ  
女人往生ノ願ノ意ヲノヘテ。給ハク。上ノ念佛往生ノ願  
ハ。男女ヲキラハス。然レ今。別ニソノ願アル。ソコ、ロイカン。ツラツラ  
コノ事ヲ案スルニ。女人ハサハリヲモシ。別シテ女人ニ約セスハ。  
スナハチ。疑心ヲ生スヘシ。ソノユヘハ。女人ハトカヲモシ。大梵  
高臺ノ閣ニモ。ヘタテラレテ。梵衆梵補ノ雲ヲノソムコトナク。  
帝釋柔軟ノ床ニモ。クタサレテ。三十三天ノ花ヲモテアソフ  
事ナレ。六天魔王位。四種輪王ノ跡ノソミナカク。タエテ。カ  
ケラサ、ス。生死有漏ノ果報無常生滅ノツタナキ身トス。モ

ナラス。イカニハニヤ。佛ノクラ井ヲヤ。諸經論ノ中ニキラハシ。在  
在所々ニ撰出セラレテ。三途ハ難ニアラス。赴ヘキカタモ  
無ク。趣四生ニアラス。受ヘキカタチチ。ゴノ日本ニモ靈地  
靈驗ノ砌ニハ。ミナコトコトクキラスレタリ。比叡山ハ傳教大  
師ノ建立。大師ミツカラ結東シテ。谷ヲサカヒ。峯ヲカキリテ。  
女人ノ形ヲイシサレハ。一乘峯タカクシテ。五障ノ雲タナヒク  
事ナク。一味谷フカクシテ。三從ノ水ナカル。事ナレ。高野山  
ハ弘法大師結東ノ峯。真言上ノ乘繁昌ノ地也。三密ノ月  
輪アリ。子クテラストイヘトモ。女人非器ノヤミヲハテラサス。五  
瓶ノ智水ヒトシク。ナカルトイヘトモ。女人垢穢ノアカヲハス。  
カス。聖武天皇ノ御願。十六丈金銅ノ舍那ハルカニコレヲ

拜見ストイヘトモ。ナラ扉ノ内ニハ。イセラレス。天智天皇ノ建  
立五丈石像ノ彌勒。アツキテコレヲ拜見スレトモ。ナラ壇ノ  
上ニハ障アリ。乃至金峯ノ雲ノウヘ醍醐ノ霞ノソコ。女人  
更ニカケヲサス。悲哉。兩足アリトイヘトモ。ホヲサル法ノ  
峰アリ。フニサル佛ノ庭アリ。耻哉。兩眼アキラカナリトイヘト  
モ。見サル靈地アリ。拜セサル靈像アリ。ゴノ穢土ノ瓦礫。荆  
棘ノ山。泥木素像佛タニモ障アリ。イカニハニヤ。衆寶合成  
ノ淨土。萬德究竟ノ佛ヲヤ。コレニヨリテ。往生ソノウタカヒ  
アルヘシ。カルカユヘニ。ゴノ理ヲカ、ミテ。別ニゴノ願アリ。善道  
和尚コノ願ヲ釋シテ。ノ給ハク。彌陀ノ大願カニヨルカユヘニ。  
女人佛ノ名號ヲ稱スレハ。命終ノトキ。女身ヲ轉シ。男子ト

ナル事ヲ得。彌陀御手ヲサツケ。菩薩身ヲタヌケテ。寶花ノ  
ウヘニ坐シ。佛ニシタカヒテ。往生シ。佛ノ大會ニイリテ。無生  
ヲ證悟ス。一切ノ女人。モシ彌陀ノ各願カニヨラスハ。千劫  
萬劫恒沙等ノ劫ニモ。ツ井ニ女身ヲ轉スルコトヲ得ヘカラ  
ストイヘリ。是則女人ノ苦ヲヌキ。女人ノ樂ヲアタフル。慈悲  
ノ誓願利生ナリ。已上見テ大經尺取要抄之アル時尋常尋常凡凡女女房  
トモ吉水ノ御房ヘマイリテ。罪ヲカキ女人モ。念佛タニモ申  
セハ。極樂ヘマイリ候ナルハ。マコトニテ候ヤラント申ケルハ。上  
人太經ノ釋ノ心ヲ子ニコロニ申ノヘラレテ。第十八願ノ上  
ニ。ツタカヒラタハシカタメニ。ドリウキ。女人往生ノ願ヲタテ給  
ヘル事。マコトニタノモシク。カタレケナキヨシヲ。仰ラレケルハ。歡

喜ノ淚ヲナカシ。ミナ念佛門ニイリニケルトナシ

第十九卷

第一段

月輪ノ禪閣ノ御歸依アサカラサリシカハ。北政所モオナシ  
久御信伏アリテ。念佛往生ノ事ヲ御タツ子アリケル。御返  
事ニ云。カレコト申上候。サテハ御念佛申サセオハシ。候  
ナルコソ。ヨモラシレク候ヘ。マコトニ往生ノ行ハ。念佛カ目出  
慶事ニテ候ナリ。ソユヘハ。念佛ハ彌陀ノ本願ノ行ナレハナリ。  
余ノ行ハソシ真言止觀ノタカキ行ナリトイヘトモ。彌陀ノ  
本願ニアラス。又念佛ハ釋迦ノ付屬ノ行ナリ。余行ハニコ  
トニ。定散兩門ノ目出タキ行ナリトイヘトモ。釋尊ヨシヲ付

屬レ給ハス。又念佛ハ六方ノ諸佛ノ證誠ノ行ナリ。餘ノ  
行ハタトヒ。顯密事理ノヤンコトナキ行ナリト申セトモ。諸佛  
コレヲ證誠レ給ハス。コノユニ。カラヤウノ行オホク候ヘトモ。往生  
ミチニハ。ヒ上人ニ。念佛スグレタル事ニテ候ナリ。カハルニ往生ノミチ  
ニ。トキ人ノ申ヤクハ。餘ノ真言止觀ノ行ニ。タヘサルヒト。カスキミ  
ノツトメニテコソ。念佛ハアト申ハ。キハメタルヒカコトニテ候。ソユ  
ヘハ。彌陀ノ本願ニアラサル余行ヲキラヒステ。又釋尊付屬ニ  
アラサル行ヲハ。エラヒトメ。又諸佛ノ證誠ニアラサル行ヲハ。  
ヤメヲサメテ。イハタハ。彌陀ノ本願ニカセ。釋尊付屬ニヨリ。  
諸佛ノ證誠ニシタカヒテ。ヲロカナルワタクシ。ハカラヒヲヤメテ。  
コノヲユヘツヨキ念佛ノ行ヲツトメテ。往生ヲハ。イノルヘト

申ニテ候ナリ。サレハ慧心僧都ノ往生要集ニ。往生ノ業ニハ。  
念佛ヲ本トスト申タルコノ心ナリ。イハタハ。余行ヲトメテ。  
一向ニ念佛ニナラセ給ヘシ。念佛ニトリテモ。一向專修ノ念  
佛。日出度事ニテ候ナリ。其ノ子三昧發得ノ善導ノ觀經疏ニ  
ミエタリ。又雙卷經三一向專念無量壽佛トイヘル。一向ノ  
言ハ。一向三向ニ對シテ。ヒトヘニ。余ノ行ヲエラヒテ。キラヒソソ  
ク心ナリ。君達トテ御イノリノレタニモ。念佛カ。メテタク候。往生  
要集ニモ。餘行ノ中ニ。念佛スグレタルヨシ。ミエタリ。又傳教  
大師ノ七難消滅ノ法ニモ。念佛ヲツトムヘシトミエテ候。オホヨ  
ソ。現世後生ノ御ツトメ。ナニコトカ。コレニスキ候ヘキヤ。イハタハ。  
一向專修ノ但念佛者ニナラセ。オハシラスヘク候。上巳。畧抄。コレニ

ヨリテ。專修念佛ノ御ココロサシ。フタ心ナカリケルトナニ

第二段

阿波介トイフ陰陽師。上人ニ給仕シテ。念佛スルアリケリ。或時上人カノ俗ヲサシテ。アノ阿波介カ申。念佛ト源空カ申念佛ト。イツシカニサルト。聖光房ニタツ子。仰ラシケルニ。心中ニワキマフル。ム子アリトイヘトモ。御コトハヲウケ給ハリテ。タシカニ所存ヲ治定セシカタメニ。イカテサスカニ。御念佛ニハ。ヒトシク候ヘキト。申サシタリケレハ。上人ユ、シク。御氣色カハリテ。サレハ。月來淨土ノ法門トテハ。ナニコトヲキカシケルゾ。アノ阿波介モ。佛タスケ給ヘトオモヒテ。南無阿彌陀佛ト申ス。源空モ佛タスケ給ヘトオモヒテ。南無阿彌陀佛トコソ申

世。更ニ差別ナキナリト。仰ラレケレハ。モトヨリ存スルコトナレトモ。宗義ノ肝心イサラユルヤウニ。タウトクオホエテ。感涙ヲモヨホシキトシ。カタリ給ケル。ニテ念數ヲレイタレタルハ。ゴノ阿波介ニテナシ侍ナリ。カノ阿波介百八ノ念珠ヲ二連モチテ。念佛レケルニ。ソノユヘヲ人々ツ子ケレハ。弟子ヒマナク。上下スレハ。ツノ緒ツカレヤスシ。一連ニテハ。念佛ヲ申シ。一連ニテハ。數ヲトリテ。ツモルトコロノ數ヲ。弟子ニトシハ。緒ヤスリテ。ツカレサルナリト。申ケレハ。上人キ、給テ。ナニ事モ。ソカ心ニソミヌル事ニハ。才覺カ。イテクルナリ。阿波介キハメテ。性鈍ニソノ心ヲロカナレトモ。往生ノ下太事心ニソミヌルユヘニ。カ、ル事ヲモ。案シ出ケルナリ。マコトニコシ。タクミナリトソ。ホメ仰ラレケル

第三段

上人カタリテノ給ハク。浄土ノ法門ヲ學スル住山者アリ  
キ。示云クワレステ。コノ教ノ大旨ヲ得タリ。シカレトモ。信心イ  
マタオコラス。イカニシテカ。信心オコスヘキト。ナクキアハセシニツ  
キテ。二寶ニ祈請スヘキヨレ。教訓ヲクワヘテ。侍シカハ。カノ僧  
ハルカニ程ヘテ。キタリテイハク。御ラレヘニシタカヒテ。祈請ヲイ  
タシ侍シアヒタ。アルトキ。東大寺ニ詣タリシニ。オリフシ。棟木ヲ  
アクル日ニテ。オビタハシキ。大物ノ材木トモ。イカニシテヒキア  
クヘシトモ。オホエヌヲ。轆轤ヲカマヘテ。コレヲアクルニ。太木オメ  
オメト。中ニキアケラレテ。トフカコトシ。アナフシキトミル程ニオ  
モラトコロニオトリスヘテキ。コレヲ見テ。良匠ノハカリコト。猶ヲ

如此。イカニ況ヤ。彌陀如來ノ善巧方位ヲヤトオモヒシ。オ  
リニ疑網ヲチトコロニタエテ。信心決定セリ。コレシカシナカラ。  
日比祈請ノシルシナリト。カタリキ。ソノチ。兩三年ヲヘテナ  
ム。種々ノ靈瑞ヲ現シテ。往生ヲトケル。受教ト發心トハ。  
各別ナルユヘニ。習學スルニハ。發心セサレトモ。境界ノ縁ヲ見  
テ。信心ヲオコレケルナリ。人ナミナミニ。浄土ノ法門ヲキハ。念  
佛ノ行ヲタツトモ。信心イマタ。オコラサラン人ハ。タ子シコロニ。心ヲカ  
ケテ。ツ子ニ思惟シ。ニタニ寶ニイノリ。申ヘキナリトソ。仰ラシケル

第四段

尼聖如房ハ。フカク上人ノ化導ニ歸シ。ヒトヘニ念佛ヲ修  
ス。所勞ノ事アリケルカ。臨終チカツキテ。イマ一度上人ヲミ

タテマツラハヤト申ケレハ。コノヨシヲ上ノ人ニ申ニ。オリフシ別行ツギキヤウ  
ノ程ナリケレハ。御文ニテ。コマカニ仰ツカハサシケリ。カノ狀キョウニ云  
聖如房ノ御事コソ。返々カスアサマシク候へ。乃至乃至タ、例ナラヌ  
大事ニナトウケ給ハリ候ハシタニモ。イマ一度ハ見マイラセタ  
ク。ヲハリマテノ御念佛ノ事モ。オホツカナクコロ。思マイラセ候  
ヘキニ。マシテ御心ニカケテ。ツ子ニ御タツ子候ランコロ。ニコトニ  
アハシニモ。心クルシクモ。オモヒマイラセ候へ。左右サマナクウケ給  
候マ、ニ。マイリ候テ。見マイラセタク候へトモ。オモヒキリテハシ  
イテアリキ候ハテ。念佛申候ハ、ヤト。思ハシメタル事ノ候ヲ  
ヤウニコソヨル事ニテ候へ。コレヲハ退シテモ。マイルヘキニテ候  
ニ。又思候へハ。詮センシテハ。コノ世ノ見參トテ。ニ。カクテモ。候ナン。

カバ子ヲ執スルトトヒニモナリ候又ヘシ。タレ一テモ。トマリハツヘキ  
身ニテモ候ハス。我モ人モ。タ、ヲクシサキタツ。カワリメハカリニテ  
コノ候へ。ソノタヘニヲ思候モ。又イツマテカト。サタメナキウヘニ。タ  
トヒ。ヒサレト申トモ。ユメマホロシ。イクホトカハ候へキナレハ。タ、  
カスレテ。オナシ佛ノ國ニ。マイリアヒテ。蓮レンノウヘニテ。コノ世ノイフセ  
サモハルケトモ。ニ過去ノ因縁インエンヲモカタリ。タカヒニ。未來ノ化導  
ヲモタスケン事コソ。返々カスモ詮ニテ候へキト。ハシメヨリ申ヲキ  
候シカ。返々カスモ本願ヲ。トリツメマイラセテ。一念モウタカフ御  
心ナク。一聲ユエモナムアマミタ佛ト申セハ。我身ハタトヒ。イカニツミ  
フカクトモ。佛ノ願カニヨリテ。一定往生スルソト。オホシメレ  
テ。ヨクヨク。一スチニ。念佛候へキナリ。我等カ往生ハ。ユメユ



メ我身ノヨシアシキニヨリ候マシ。ヒトヘニ。佛御カハカリニテ  
候ヘキナリ。我カニテハ。イカニ。メテタタ。タウトキ人ト申トモ。未  
法ノコノコロ。タ、チニ。浄土ニムル、ホトノ事ハ。アリカタク候  
ヘキ。又佛ノ御千カラニテ候ハンニハ。イカニ罪フカクヲロカニツタ  
ナキ。身ナリトモ。ゾレニハヨリ候マシ。タ、佛ノ願カラ信セヌニ  
ソヨリ候ヘキ。至サテ往生ハセサセオハシスレキヤツニノミ。申  
キカスル人々ノ候ランコソ。返々アサマシク。心クルレク候ヘ  
イカナル智者。メテタキ人。オホセラルトモ。ゾレニナラトロカセオ  
ハシマシ候。各々ノミ千ニハ。メテタタウトキ人ナリトモ。サトリ  
アラス。行コト九人ノ申候事ハ。往生浄土ノタメハ。中々ユ  
ユシキ。退縁惡知識トモ申候。又ヘキ事トモ。サテ候。タ、凡夫

ノハカラヒヲハキ。ハイシサセ。オワシマサテ。一筋。佛ノ御誓ヲタノ  
ミ。マイラサセオハシマスヘク候。サトリコトナル人ノ往生ヲイヒサ  
マケンニヨリテ。一念モ。ウタカフ心アルヘカラスト。イフコトハリハ。  
善導和尚ノ。ヨクヨクコマカニ。仰ラシタル事ニテ候ナリ。至中  
々アラヌスチナキ人ハ。アレク候ナシ。タ、イカナラン人ニテモ。尾  
女房ナリトモ。子ニ御マヘニ候ハン人ニ。念佛申サセテ。キカセオ  
ハシマシテ。御心ヒトツラ。ツヨクオホシメシテ。一向ニ凡夫ノ善知  
識ヲ思食ステ。佛ヲ善知識ニ。タノミ。マイラセサセ給ヘク候。  
至カヤウニ念佛ヲカキコモリテ申候ハムナト思候モ。ヒトヘニ  
我身ヒトツノタメトノミハ。モトヨリ思候ハス。オリシモ。ゴノ御事  
ヲカクウケ給。候ヌレハ。イマヨリハ。一念モノコサス。コトコトクソ

ノ往生ノ御タスケニナサント。廻向エホシマイラセ候ハンスレハカ  
マヘテカマヘテオホシメスサマニトケサセマイラセ候ハ、ヤトコ  
ソハフカク念シマイラセ候へモレコノ心サレトナラハイカテカ。  
御タスケニモナラテ候へキタノミオホシメサルハキニテ候。オホカ  
タハ申イテ候レ。ヒトコトハニ。御心ヲトメサセオハレマス事モ。  
コノ世ヒトツノ事ニテ候ハレト。サキノ世モユカレクアハレニコソ。  
思レラル、事ニテ候ハハ。ウケ給候コトク。コノタヒ。マコトニ。サキタ  
、セオハレマスニテモ。又オモハスニサキタテマイラセ候事ニナル。  
サタメナサニテ候トモツ井ニ一佛浄土ニ。マイリアヒマイラセ候  
ハニ事。ウタカヒナクオホエ候。ユメマホロシノ。ニノ世ニテイニ一  
度ナト思候事ハトテモカクテモ候ナン。コレヲハ一スチニ。オホシメ

レスデ、イト、モ、フカク子カフ御心ヲモマシ。御念佛ヲモハケマ  
レ。オハレマシテカレコニテマント。オホシメスヘク候。至乃モレム。ケニ  
ヨハクナラセオハレシタル御事ニテ候ハ。コレハ事ナカク候へ  
ク候。エウヲトリテツタヘマイラセサセオハレマスヘク候。ウケ給候  
マ、ニ。ナニトナクアハレニオホエテヲシカヘシ。又申候ナリ已上畧抄コ  
ノ御文ノ趣キヲフカク心ニソメテ。念佛ヲコタラスシテツ井ニメ  
テタキ往生ヲトケニケルトナン

第五段

仁ニ和寺ニスミケル尼子上人ニマイリテ申ヤウ。ミツカラ千部セブ  
ノ法華經ヲヨムヘキヨシ。宿願ノ事アリテ。七百部ハステニヨ  
ミヲハレリ。レカルニトシステニタケ侍。又ノコリノ功イカニシテヲ

へ侍へし。トモオホエ侍ラス。トナケキ申ケレハ。トシタケタマヘル  
御身ニハ。メテタク七百部マテハ。ヨミ給ヘルモノカナ。ノコリヲハ。  
一向念佛ニ。ナサレ候へし。トテ念佛ノ功能ヲトキキカセラ  
レケレハ。ソノチハ。法華經讀誦ヲトメテ。一向專稱シテ。ト  
レ月ヲヘテ。ステニ往生シトケニケリ。丹後國志樂ノ庄ニ彌  
勒寺トイフ。山寺ノ一向和尚ナリケル僧ノ。ムカレハ天台山ノ  
學徒ノ。チニ六道世シテ。上人ノ弟子トナリテ。一向ニ念佛  
シテ。五條ノ坊門富小路ニスミケルカ。ヒル子シタル夢ニ。ソラ  
ニ紫雲從耳ケリ。ナカニ一人ノ尾アル。マコトニ心ヨケニ。ウチエ  
ミテ。ソレハ法然上人ノヲシヘニヨリテ。念佛シテ。只今スニ  
極樂へ往生シ候ヌルノ。コレハ仁和寺ニ。住ソル尾ナリト。申

トミテ。夢サメヌ。ヤカテ上人ノオハシマレケル。此条ナル所へ。衆  
テ妄想ニテ。ヤ候ラン。カ、ルユメラ見テ候ト申ケレハ。上人  
チ察シタマヒテ。サル人アルラシトテ。ヤカテ仁和寺へ使ヲツカ  
ハサレントスルニ。日クニケレハ。次ノアシタツカハサル。便宜ノヨ  
シニテ。ナニ事カ候ト。タツヌヘシト。オホセラレケレハ。ツカヒカノト  
コロヘ。ムカヒテ。タツ子申ニ。カノ尾公ハ昨日午刻ニ。ハヤ往生  
シ候ヌト。答申ケル。アハレニタウトキ。事ニテソアリケル

第二十卷

第一段

河内國二天野ノ四郎トテ。強盜ノ張本ナルモノアリケリ。  
人ヲコロシ。財ヲカスムルヲ業トシテ。世ヲワタリケルカ。トシタケ

テ後。上人ノ化道ニ歸シ出家シテ。教阿彌陀佛ト號シケ  
リ。ツ子ニ。上人ノ御モトニ參シテ。教訓ヲカフリケルカ。或特夜  
半ハカリニ。上人才キ井タマヒテ。ヒソカニ。念佛シ給カト。オホシ  
キ事アリケリ。教阿彌陀佛ウチシクフキタリケハ。上人ヤカテラ  
シ給ヌ。子イリ給ヘルサニテ。ソノ夜モアケニケリ。教阿彌陀佛  
心ノ中ニイト。心エヌワサカナト。オモヒケシトモ。タツ子申ニ。ヲヨ  
ハテヤミニケリ。程ヘテノチ。又參タルニ。上人ハ持佛堂ニオハシ  
一セハ。教阿彌陀佛ハ。オホユカニ候シテ。申ケルハ。無縁ノモノニ  
テ。在京カナヒカタク侍シハ。相摸國河村ト申トコロニアヒシ  
リタルモノ、侍ヲタノミテ。カカリクタリ侍リトシタケ侍ヌレハ。  
又見參ニ入ランコトモ。カタク候。モトヨリ無智ノ者ニテ侍

シハ。甚深ノ法門ヲウケ給候トテモ。ソノ甲斐アルヘシトモ覺  
侍ラス。タ、詮ヲトリテ。決定往生仕ヌヘキ。御一言ヲウケ給  
ハリテ。生涯ノ御カタミニソナヘ侍ラント。上人ノ給ハク。念佛  
ニハ。甚深ノ義トイフコトナシ。念佛申モノハ。カナラス。往生ス  
トシルハカリナリ。イカナル智者學生ナリトモ。宗ニアカササラン  
義ヲハ。イカテカ。ツクリイタシテ。イフヘキ。ユメユメ甚深ノ義ア  
ルラント。ユカシク思ハルヘカラス。念佛ハ。オホスキ行ナシハ。申人ハ  
オホケシトモ。往生スルモノ、スクナキハ。決定往生ノ故實ヲ  
シラヌユヘナリ。去月ニ又人モナクテ。御房ト源空ト。タ、一  
人アリシニ。夜半ハカリニ。シノヒヤカニ。起居テ念佛せシヲハ。  
御房ハ。キカシケルカト。仰ラレハ。寢耳ニサヤラント承候キト

申ケレハソレコソヤカテ。決定往生ノ念佛ヨ。虚假トテカサル  
心ニテ。申念佛カ。往生ハセヌナリ。決定往生セントオモハ。  
カサル心ナクシテ。マコトノ心ニテ申ヘシ。イフカヒナキオサナキ  
モノ。モシハ畜生ナトニカヒテハ。カサル心ハナケレトモ。朋同行  
ハイフニヨハス。ソノ外ツ子ニナシミル妻<sup>サイ</sup>子<sup>シ</sup>眷<sup>ケン</sup>屬<sup>リク</sup>ナシトモ。東  
西ヲ弁フルホトノ者ニナリヌレハ。ソレカタメニ。カナラス。カサル  
心ハ。ゾコルナリ。人ノナカニス。マニハ。ソノ心ナキ九夫ハ。アルハカ  
ス都<sup>ト</sup>親<sup>シ</sup>レキモ。疎<sup>ソ</sup>モ貴<sup>キ</sup>モ賤<sup>ケン</sup>モ。人ニスキタル往生ノアタハナ  
シ。ソレカタメニカサル心ヲ。コレテ。順次<sup>ジュンジ</sup>ノ往生ヲトケサレハナ  
リ。サリトテ獨居<sup>ドコ</sup>モカナハス。イカ、シテ。人目ヲカサル心ナクシテ。  
マコトノ心ニテ。念佛スヘキトイフツ子二人ニ。ミレリテ。シツマ

ル心モナク。カサル心モアラシモノハ。夜サレフケテ。見久<sup>ミク</sup>モ聞<sup>ク</sup>人  
モナカラシ時。レノヒヤカニ。起居<sup>キョ</sup>テ百遍ニテモ。千遍ニテモ。多  
少コ、ロニミカセテ。申サン念佛ノミ。カサル心モナケレハ。佛  
意<sup>イ</sup>ニ相<sup>サ</sup>應<sup>オウ</sup>シテ。決定往生ハトグヘキ。コノ心得<sup>コノコド</sup>ナハ。カナラスレ  
モ。夜<sup>ヨ</sup>ニハカキルヘカラス。朝<sup>アサ</sup>ニテモ。晝<sup>ヒル</sup>ニテモ。暮<sup>ク</sup>ニテモ。人ノキクハ  
ハカリナカラシ所ニテ。ツ子ニカクノコトク申ヘシ。所詮<sup>ソケン</sup>決定往  
生ヲ。子カフマコトノ念佛申サンスル。カサラヌ心ヲ。タトヘハ。  
盗人アリテ。人ノ財ヲ思カケテ。ヌスマントオモフ心ハ。底<sup>ソコ</sup>ニフ  
カケレトモ。面<sup>オモテ</sup>ハサリケナキ様ニ。モテナシテ。カマヘテアヤシケ九  
色ヲ。人ニミエシト。オモハンカコトシ。ソノヌスミ心ハ。人マタクシラ  
子ハ。スコシモ。カサラヌ心ナリ。決定往生セントスル心モ。又カ

クノコトシ。人オホク。アツマリ居タラシナカニテモ。念佛申イロ  
 ヲ人ニミセスレテ。心ニワスルマレキナリ。ソノ時ノ念佛ハ佛ヨ  
 リホカハタレカコレヲレルヘキ。佛シラセ給ハ、往生ナンソ。疑  
 ハシト。仰ラレケレハ。教アミタ佛申サク。決定往生ノ法門コ  
 ソ心得候ヌレ。ステニサトリキハメ侍リ。コノ仰ヲウケ給ハラサ  
 ラマレカハ。コノタヒノ往生ハ。アツナク候ハマレ。但コノ仰ノコト  
 クニテハ。人ノマヘニテ。念殊ヲクリ。舌ヲハタラカス事ハアルマレ  
 ク候ヲラシ。上人ノ給ハク。ソレ又僻韻ナリ。念佛ノ本意ハ  
 常念ヲ詮トスサレハ。念々相續セヨトコソ。スハメラレタレ。タト  
 ハ。世間ノ人ヲミルニ。ヲナシ人ナレトモ。豪憶アヒワカレテ。憶  
 病ノ者ニナリヌレハ。身ノタメクルレカルマレキ。聊ノイカリヲモゾ

チヲソレテ。逃カクシ。豪ノ者ニナリヌレハ。命ヲウシナフヘキ。コハキ  
 敵ノレカモ。逃カクシナハ。ダスカルヘキナレトモ。スコシモオソリス。  
 ヒトレサリモ。セサルカコトシ。コレカヤウニ。真偽ノ二類アリ。地體  
 イツハリ性ニシテ。カサル心アルモノハ。身ノタメニ。要ナキ聊ノ事  
 ヲモ。カナラス。イツハリカサルナリ。モトヨリ。マコトノ心アリテ。虚言  
 セヌモノハ。聊ノ矯飾シテハ。身ノタメオホキニ。ソノ益アルヘキ  
 事ナレトモ。身ノ利養ヲハカヘリミス。底ニマコトアリテ。スコシモ。  
 カサル心ナシ。コレミナ。本性ニラケテ。ムマレタルトコロナリ。ソノマ  
 コトノ心ノモノハ。往生セントオモヒテ。念佛ニ。歸シタラシハ。イ  
 カナル所。イカナル人ノマヘニテ。申ストモ。スコシモ。カサル心アルマ  
 レケレ。コレ眞實心ノ念佛ニシテ。決定往生スヘキナリ。ナン

ソコレヲイマシメシ。又地體ハイツハリ性ニシテ。世間サニツケ  
テハイサ、カ不實ノ事モアリ。シカレトモ。知識ニアヒテ。發心  
シテ。往生セントオモフ心。フカクナリヌレハ。念々相續セント。  
オモヒテ。イカナル所。イカナル人ノマヘニテモ。無想ニヒタ申ニ。  
申サンモノ。コレ又真實心ノ念佛ナレハ。決定往生スヘキ  
ナリ。マタク制ノ限ニアラス。イマフトコロハ。三心ノナカニ。一心  
モカケヌレハ。往生セスト。釋シ給ヘルニ。三心ノナカノ。真實心  
ノ入コトニ。發カタケレハ。ソノ真實心ヲ。發ヘキヤウヲ。イフハカ  
リナリ。サレハトテ。タノトキ。念佛ナ申ソトハ。イカ、スムヘキト。  
又教阿彌陀佛申サク。サキニ仰ノ侍ツルヤウニ。夜念佛  
申サンニハ。カナラス。起居候ヘキカ。又念殊袈裟ヲトリ侍ヘ

キカト。上人ノ給ハク。念佛ノ行ハ。行住坐卧ヲキラハ又事  
ナレハ。ブレテ申サントモ。居テ申サントモ。心ニマカセ。時ニヨルヘ  
シ。念殊ヲトリ。袈裟ヲカクル事モ。又折ニヨリ。體ニシタカフヘ  
シ。タ、詮スルトコロ。威儀ハイカニモアレ。コノタヒカニヘテ。往生  
セントオモイテ。マコトシク。念佛申サンノミソ。大切ナト。仰ラ  
レケレハ。教阿彌陀佛歡喜踊躍シ。合掌禮拜シテ。罷出ニ  
ケリ。翠日法蓮房信空ノモトヘユキテ。暇コヒシケルニ。昨日  
上人ノ授給ヘル決定往生ノ義トテ。申イタシテ。コノタヒノ  
往生ハ。スコシモ疑ナキヨシ。ヨロコヒ申テ。東國ヘ下向シニケ  
リ。其後上人ノ御マヘニテ。法蓮房コノ事ヲ申イタシテ。サル  
御コトノ侍ケルニヤト。申サシケレハ。ソノ事ナリ。サル舊盜人ト聞

量テ侍リホトニ對機説法シテ侍キ。一定心得タリケニコソ。  
 三エシカトモ仰ラレケル。教阿カノ河村ニクタリテスミ侍ケル  
 九所勞ツキテ終焉ニソシケル。同行ニカタリテイハクワカ往  
 生ハ決定ナリ。コレスナハチフカク上人ノヲシヘヲ信スルユヘ  
 ナリ。往生ノヤウカナラス。上人ニ參シテ申ヘシト。遺言シテ  
 正念タカハス。合掌ミタル、事ナク。高聲念佛數十返トナ  
 ヘテヲハリニケリ。同行ヤカテ上洛シテ。遺言ノ次第ヲレク。  
 上人ニ申ケレハ。ヨク心エタリトミエシカ。相違セザリケルアハ  
 レナル事ナリトモ仰ラレタル

第二段

沙彌隨蓮住四條萬八上人配所へオモムキ給シ時。御ト

モ申テ。歸依アサカラサリキ。上人コレヲアハレミテ。念佛往生  
 ノ道ヲ開示シ給ニ。フカク信受シテ。フタ心ナク念佛シケリ。  
 上人往生ノ後。建保二年ノコロ。イカニ念佛ストモ。學問  
 シテ三心ヲシラサランニハ。往生スヘカラスト。申モノアリケレハ。  
 隨蓮申サク。故上人ハ念佛ハ様ナキヲヤウトス。タ、ヒトニ佛  
 語ヲ信シテ。念佛スレハ。往生スルナリトテ。マタク三心ノコト  
 ヲモ。仰ラレサリキト。彼ノ人カサ子テイハク。一切ニ心ヲマシキ  
 モノ、タメニ。方便シテ。仰ラレケルナリ。上人御素意ノオモム  
 キハトテ。經釋ノ文ナトユハシケニ。申キカセケレハ。マコトニサモ  
 ヤアルラント。イサ、カ疑心ヲオコスコトアリケルニ。アル夜ノユ  
 メニ。法勝寺ノ西門ヨリ。入テミレハ。池ノナカニ。イロイロノ蓮



華サキミタシタリ。西ノ廊ノカタヘ。アユミヨリテミシハ。僧衆ア  
 一々列座シテ。浄土ノ法門ヲ談ス。隨蓮スミレンキサハレニ。ノホリアカ  
 リテミレハ。上人北座ニ南ムキニ座シタマヘリ。隨蓮見タテマ  
 ツリテカレコシニ。上人見タマヒテコレヘマイシト。メレケレハ。マ  
 チカクマシリ又。隨蓮イマタ。コトハライタサハルニ。上人ノ給ハク。  
 汝カコノホト。心ニナケキオモフコト。ユメユメツツラフヘカラスト。  
 隨蓮コノ事スヘテ。人ニモ申サス。ナニトシテ。シロシメシタルニヤ  
 ト。思ヒナカラ。上件ノヤウラクハレク申ニ。上人仰ラレテイハク。  
 タトハハ。ヒカ事ライフモノアリテ。アノ池ノ蓮華ヲ。蓮華ニハア  
 ラス。梅ウメノ櫻サクラソトイハハ。信スヘシヤト。隨蓮申テ云。現ニ蓮華  
 ニテ候ハシヨハ。イカニ人申候トモ。イカテカ信シ候ヘキヤト。上人

ノ給ハク。念佛ノ義モ又カクコトシ。源空カ汝ニ念佛シテ往生  
 スル事ハ。決定シテ。疑ナシトラレヘシラ。信シタル。蓮華ヲ。蓮華ト  
 オモハンカコトシ。フカク信シテ。トカク沙汰ニ及ハス。タハ念佛  
 ヲ申ヘキナリ。アラヌ邪見ノ櫻梅ノ義ヲハ。ユメユメ信スヘカ  
 スト。仰ラルトミテ。ユメサメヌ。隨蓮疑念ノコリナク。散シニケリ。  
 念佛功モリ。臨終正念ニシテ。往生素懐ソノケヲトケハルトナニ。  
 抑上人アルトコロニハ。三心ノヤウラクハレクヲシヘアルトコロ  
 ニハ。三心ノ沙汰詮ナキヨシ。仰ラレタリ。コレ人ニヨルヘキ事  
 ナリ。各號ミヤウカワヲトナフレハ。カナラス。往生ストハカリ。マメヤカニ。タノミ  
 テ。ナフレハ。ソノ人ノ心ニヲノツカラ。三心モソナハリヌルヲ。中  
 中ニ。三心トテ。コトコトシク。申ナスホトニ。カヘリテ。信心ヲミタ

ルコトモ侍ナリ。カ、ラン人ノタメニ、三心ノ沙汰無益ノ事  
 尤ヘシモ。日來ハ、ウタカヒノ心モアリ。三心具セヌ人モ、聖  
 教ヲ學スレハ、道理ニオシテ、三心ノオコル事モアルハ、サヤウ  
 ナラン人ノタメニ、三心ノ梯ヲシランモ、大切ナルヘキヲ、丁向  
 ニコレヲ、非世ハ、又ソノトカアルヘシ。コノスチヲ心エナハ、上人兩  
 様ノ御勅進サラニ、相違ヲ成スヘカラサルモノナリ

第三段

遠江國久野ノ作佛房トイヒレ山卧ハ役ノ行者ノ跡ヲ  
 ラヒ。山林斗藪ノ行ヲタテ、大峯ヲ經歴シ、熊野參詣ノ  
 アユミヲハコフ事。四十八箇度也。タヒコトニ、證誠權現ノ  
 寶前ニヒサマツキウレサラニ、現世ノ果報ヲイノラス。子カハク

ハ出離ノ要道ヲシメシ給ヘト。チカヒケルニ、四十八度滿ス  
 ル時、當時京都ニ法然房トイフ。ヒシリアリ。ユキテ出離ノ  
 道ヲタツヌヘシト。シメシ給ケレハ、スナハチ、上洛シテ、上人ニ謁  
 シタテニツリ。念佛往生ノ教導ニアツカリ、一向專修ノ行  
 者トナリニケリ。本國ニクタリテハ、ミツカラ市ニイテ、染物ナ  
 トヤウノモノヲ賣買シテ、命ヲツクハカリ。コト、シケリ。モトヨリ、  
 孤獨ノ身ナシハ、同行モナク、知識モナシ。病ヲタケサレハ、病惱  
 ノシルシミナク、療治ノワツラヒナシ。往生ノ期イタリテ、道場  
 ニイリ、佛前ニシテ、ミツカラカ子ヲウチ、高聲念佛數聲ニシヨ  
 フ。小法師朝餐ヲト、ノヘテ、案内シケルニ、シハラクトテ、念佛  
 ノコエシキリナリ。念佛ト、ニリテノチ、マタ申オトロカスニ、ト

モセサリケレハ。チカクヨリテミルニ。本尊ニムカヒ。端坐タマカ合掌カウジヤウス。ソノカホエメルカコトシ。サルホトニ。紫雲ムラサキクモニオトロキ。異香イキヨウヲタツ子テ。諸人シヨジン雲集ウンシツシ来キ縁エンヲムスフ。奇特キツテツノコトナリケリ。上人ジョウジンノ勸化クワンカ神慮シケンリョニカナヘルコト。カクノコトシ。抑能野山ヨツネノヤマ證誠シヤウジヤウ權ケン現ゲンハ。本地河彌陀如來ナリ。イマ神明トアラハシテ。無福ノ衆生シュウジヤウニ。福ヲアタヘント。チカヒ給ヘルモ。セメテ慈悲ジイノアハリニ。貪オン欲ヨクフカクシテ。ヒトヘニ今イマ生シヤウノ榮耀エイヨウニ心ヲソメ。後生ゴシヤウノ苦患クワンヲワスレタル。衆生シュウジヤウノ人ニヒト身ミミヲウケタル。カヒナクシテ。フタ、ヒ惡アク道ミチニカヘルヘキトモカララヌ。カタクハシカタクメノ濟度サイドノ方便フワンベツナルヘシ。ガレハ當山トウサンニマダテハ。後世ゴセホダイヲイノルヒトハ。ナガレニナホサスカコトク。本願ノ正意テイイニカナヒテ。カナラス順次ジュンジノ往ユキ

トラトクナトソ。申ツタヘ侍ル。九品クジュノ鳥居トリイヲタテラレタルモ。九品クジュノ淨刹ジヤウセツニ引接ヒキツグノ御本意ミホンイヲ表ストイヘリ。參詣サンケイノ入内ジュウナイニ本地ホクニノ本願ホンガンヲタノミ。外ソトニ垂迹シヅメノ擁護ヨウゴヲアフキテ。タ、ヒトヘニ。順次ジュンジ往生ユキノ心サレテ。サキトシ侍ルヘキモノヲヤ

傳繪詞卷四終



